

令和5年度

事業報告書

収支決算書

2023

岡山商工会議所

目次

総括的概要	1
事項別状況	11
I 定款及び規約等	11
1. 定款	11
2. 規約（規則・規程）	11
II 組織	12
1. 会員	12
2. 特別会員	15
3. 特定商工業者	15
4. 役員	16
5. 議員	17
6. 委員長等	20
7. 青年部・女性会	22
8. 顧問・参与	22
III 事務局	24
1. 事務局の機構	24
2. 事務局役職員	25
IV 庶務	26
1. 表彰・受章	26
2. 慶弔・儀礼（主なもの）	27
V 会議	28
1. 議員総会	29
2. 常議員会	31
3. 監事会	32
4. 部会・委員会	32
5. 小規模事業者経営改善資金審査会	39
6. フルーツパフェの街おかやま実行委員会	39
7. こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会	39
8. 西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会	40
9. 諸会議	40

VI	事業活動	44
	1. 各種事業	44
	2. 意見活動	55
	3. 調査研究	55
	4. 広報	56
	5. 証明・鑑定	60
	6. 各種行事	62
	7. 技術技能の普及検定	66
	8. 業者照会	69
	9. 経営改善普及事業	69
	10. 経営安定特別相談事業	71
	11. 伴走型小規模事業者支援推進事業	72
	12. 共済事業	72
	13. 労働保険事務組合事業	72
	14. 受託事業	73
	15. 補助金申請・採択状況	73
VII	登録	74
	1. 法定台帳	74
VIII	会館・事務所等	75
	1. 岡山商工会議所ビルディング概要	75
	2. 各階床面積	75
	3. 岡山商工会議所ビル入居者	76
	4. 附帯駐車場の概要	76
IX	関係団体への加入及び連繫	77
	1. 日本商工会議所	77
	2. 中国地方商工会議所連合会	77
	3. (一社)岡山県商工会議所連合会	77
	4. 出資先	77
X	外郭団体等	78
【資料編】	令和5年度に行った意見活動	81
令和5年度収支決算書		105

總括的概要

令和5年度事業報告書 総括的概要

一方で、街の様子に目を向けると、経済活動の正常化によって人流が回復し、ようやく街なかのイベントも本格的に再開されることとなった。

とりわけ岡山芸術創造劇場ハレノワの開業によって中心市街地の人の流れが変わりつつあり、当地域が新たな段階に入ったことを実感できる1年でもあった。

しかしながら、長引く物価高がコロナ禍からの復活需要に水を差していること等から、当所では、地域経済の真の再生に向けて、企業活力の創造、都市の魅力向上、組織体制の強化に取り組んできた。



令和5年度事業報告書 総括的概要

【企業活力の創造①】

◆新型コロナ対応・エネルギー価格高騰対策の支援

中小企業支援部内に「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を引き続き開設し、管内の中小・小規模事業者を対象に、資金繰り円滑化、雇用維持、販路開拓など、多岐にわたる分野でコロナ対応の経営相談を実施した。

国の中小企業向け補助金の申請を支援したほか、当所の要望により実現したエネルギー価格高騰対応の補助金の申請相談・受付・支給業務を行った。

- 小規模事業者持続化補助金
申請：320件 採択：134件
- 事業再構築補助金
申請：10件 採択：3件

- 岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金
第1弾 支給：295件 3億1,036万9千円
第2弾 支給：304件 3億1,290万8千円

令和5年度事業報告書 総括的概要

【企業活力の創造②】

◆資金繰り支援

無担保・無保証・低利率という有利な貸付条件で小規模事業者を支援するマル経資金（小規模事業者経営改善資金）について、推薦状況は件数88件（前年84件）、金額5億3,882万円（前年5億4,249万円）となった。コロナ禍から回復する事業者が増えてきた一方で、“ゼロゼロ融資”と言われるコロナ融資の返済や物価高騰の影響等に苦慮する事業者もあり、迅速な対応に努めた。また、各種融資制度や経営安定等の個別相談を行う「融資・経営安定」特別相談会を毎月2回開催し、延べ174件の相談に対応した。



◆事業承継・引継ぎ支援

中小・小規模事業者93社を対象に事業承継簡易診断を実施、うち10社に対して承継コーディネーターや会計士・弁護士等の専門家を派遣した。親族内承継、従業員承継、M&Aなど、企業の置かれた状況に応じた支援に努めた。

令和5年度事業報告書 総括的概要

【都市の魅力向上①】

◆「烏城夏まつり」を開催

8月5日・6日、リニューアルされた岡山城にて「烏城夏まつり」を開催した。岡山の歴史や文化の「体験・体感」をテーマとし、岡山城の入場券の配布や地元アーティスト・学生によるステージショー、岡山グルメを楽しめる出店や子ども向けの縁日、スモークや光による演出など、老若男女が楽しめるコンテンツを展開した。まちの文化財を活用した賑わいづくりに繋がる内容となった。



◆地域ブランドの魅力向上

「フルーツパフェの街おかやま」「こだわりの逸品おかやま果実」の両事業を展開し、岡山県産果物の魅力を発信したほか、「晴れの国おかやま検定」を実施した。

令和5年度事業報告書 総括的概要

【都市の魅力向上②】

◆第33回北前船寄港地フォーラム in OKAYAMAを開催

江戸中期から明治30年代にかけて活躍した北前船ゆかりの地が交流する「第33回北前船寄港地フォーラム in OKAYAMA」を、10月5日・6日、岡山県内で開催した。22都道府県から数多くの自治体や企業のトップが参加した。

トークセッションでは、フォーラム実行委員長の松田会頭をはじめ多くの有識者が登壇し、地域の文化・伝統と観光の在り方について紹介した。また、分科会では史跡や博物館、クルージングや作陶などの“体験”を通じて、岡山の地域に根付いた産業や歴史、文化を学んだ。



令和5年度事業報告書 総括的概要

【都市の魅力向上③】

◆西大寺地域の活性化を推進

(一社)西大寺活性化協議会と共に空き家空き店舗の活用、まち並み整備、観光・産業振興などの地域活性化に資する事業活動を行った。

西大寺が北前船の寄港地であると文献から認められることから、日本遺産認定に向けた構成文化財の調査を実施、岡山市に認定申請を依頼した。

また、西大寺会陽は、4年ぶりに宝木争奪戦を再開、伝統行事の完全復活を印象づけた。



令和5年度事業報告書 総括的概要

【都市の魅力向上④】

◆アリーナ建設実現に向けた活動を展開

新アリーナ建設の実現に向け、地元プロスポーツチームと当所を含む経済団体が中心となり「新アリーナの建設実現を求める署名運動委員会」を発足させ、建設実現を後押しするため署名運動を展開した。

署名用紙以外にWEB署名の方式も採用し、各チームのホームゲームで署名を呼びかけたほか、12月11日、令和6年1月19日の両日には、岡山駅後楽園口（東口）広場にて街頭署名運動を実施。市民に協力を呼び掛けた。

2月7日には、1月末までに合計85,551人分の署名が集まった結果を、岡山県知事及び岡山市長へ報告した。



令和5年度事業報告書 総括的概要

【組織・運営力の強化】

◆岡山商工会議所会館整備方針の検討

岡山商工会議所会館の耐震補強工事、リニューアルについて検討を進めた。6月開催の議員総会において設計事務所を選定し、基本計画、基本設計を進め、10月に開催した議員総会において、施工会社を選定した。

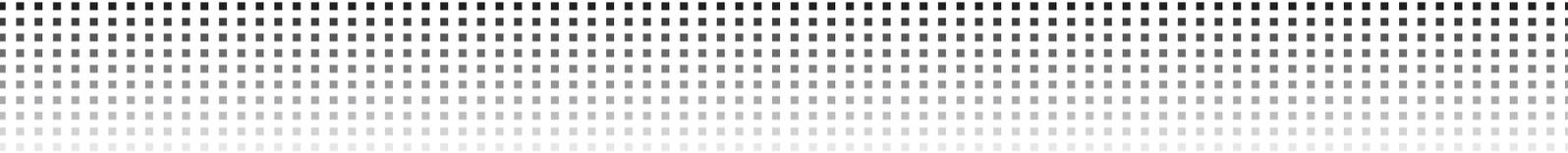
◆パーパスの策定

社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、岡山商工会議所の進むべき方向性を明確化・共有化することにより、組織に一体感を生み、会員や社会からの共感を得ることを目的に、パーパス（存在意義）、ビジョン（将来像）、ミッション（使命）、バリュー（行動指針）を策定した。

「岡山の商工業の健全な発展を支援するとともに、地域社会全体の豊かさや幸せに寄与する」という理念を明確にし、次年度以降の事業運営の揺るがぬ方向性とした。



うったては、
商工会議所から



事項別状況



I 定款及び規約等

1 定 款

定款の変更はなし。

2 規約（規則・規程）

令和6年3月27日開催の第123回通常議員総会において事務局組織改編に伴う当所事務規則、給与規程、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程、職員貸付制度規程の改正を行った。

	旧 条 文		新 条 文	
部 署 名	総務部 事業推進部 中小企業支援部 西大寺支所	総務課 経理課 企画推進課 会員サービス課 地域振興課 経営支援課 金融支援課 専門指導センター 総務企画課 中小企業振興課	総務部 事業推進部 中小企業支援部 西大寺支所	総務グループ 経理グループ 企画推進グループ 会員サービスグループ 地域振興グループ 経営支援グループ 金融支援グループ 専門指導グループ 総務企画グループ 中小企業振興グループ
役 職 名	課長 課長補佐 主幹		マネージャー サブマネージャー リーダー	
			附則 改正規則は、令和6年4月1日から実施する。	

Ⅱ 組 織

1 会 員

① 会員数 (令和6年3月31日現在)

区 分	令和4年度末 現在会員数	新規加入者数	脱退者数	令和5年度末 現在会員数
個人	2,221	74	299	1,996
法人	5,484	109	209	5,384
団体	23	0	3	20
合計	7,728	183	511	7,400

会費負担口数別 (金額別) 会員数

持口数	会員数	会費 (年間)	持口数	会員数	会費 (年間)
1	2,166	12,996,000	50	5	1,500,000
2	1,948	23,376,000	70	71	29,820,000
3	2,812	50,616,000	80	27	12,960,000
4	17	408,000	90	1	540,000
5	190	5,700,000	100	10	6,000,000
6	14	504,000	150	1	900,000
7	2	84,000	200	16	19,200,000
8	2	96,000	305	1	1,830,000
9	1	54,000	330	2	3,960,000
10	59	3,540,000	口数合計		30,307口
12	1	72,000	平均口数		4.09口
15	8	720,000	年間会費総額		181,842,000円
20	28	3,360,000			
30	10	1,800,000			
33	2	396,000			
35	1	210,000			
40	5	1,200,000			

② 部 会

部会の名称、所属業種、所属部会員数

部 会 名	所 属 業 種	所属部会員数
(1) 建 設	総合工事（土木、舗装、建築、建築・リフォーム）、職別工事（大工、とび・土工・コンクリート工事、鉄骨・鉄筋、石工・れんが・タイル・ブロック工事、左官、板金、塗装、インテリア）、設備工事（電気、電気通信、管工事）	1,128
(2) ものづくり	製造業（食料品、飲料、繊維製品、木材・木製品、家具・装備品、紙・紙加工品、化学製品、医薬品、石油・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、なめし皮・同製品、窯業・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械器具、電子部品、情報通信機器、輸送用機械器具、その他の製造）	546
(3) 情 報・文 化	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット関連、映像・音声文字情報制作、新聞、出版、広告制作・代理店、印刷、製本、デザイン、ディスプレイ、屋外広告、著述・芸術家	461
(4) 運 輸・通 信	鉄道、道路旅客運送、道路貨物運送、水運業、航空運輸、倉庫、自動車販売・整備、レンタカー、運転代行	418
(5) 卸 売	各種商品、繊維製品、飲食料品、建築材料・鉱物・金属、化学製品、機械器具（自動車を除く）、家具・建具・じゅう器、医薬品・化粧品、紙・紙製品、その他製品	510
(6) 小 売	百貨店、スーパー、繊維製品、靴・履物、飲食料品、機械器具（自動車を除く）、家具・建具・じゅう器、医薬品・化粧品、燃料、書籍・文房具、スポーツ用品・がん具、時計・貴金属、無店舗販売、その他製品	708
(7) 金 融・不 動 産	銀行、協同組織金融、貸金業、金融商品取引、保険業、不動産取引・賃貸・管理、駐車場、物品賃貸業（自動車を除く）	496
(8) 観 光	旅館・ホテル、旅行代理店、食堂・レストラン、喫茶店、酒場・スナック、テイクアウト、デリバリー	550
(9) 専門サービス	弁護士、司法書士、弁理士、土地家屋調査士、行政書士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、純粋持ち株会社、獣医、写真、機械設計、非破壊検査、土木建築設計、大学・専門学校・教育関連機関、修理・メンテナンス、職業紹介、労働者派遣、建物サービス、警備業、各種団体	871
(10) 生活関連サービス	洗濯、理・美容、浴場、家事サービス、宗教、冠婚葬祭、映画館、遊技場、スポーツ施設、その他の娯楽業、電気・都市ガス供給、病院・診療所、歯科医院、療術業、保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業、児童・老人・障害者福祉、学習塾、教養・技能教授、イベント企画、廃棄物処理	687

③ 委員会

【常設委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
運 営 委 員 会	20	商工会議所の運営上、重要な事項 国、自治体に対する政策提言、事務局員の資質向上、財政基盤の拡充による職員待遇の向上 (次の小委員会を設置) ①会員増強 ②選挙制度改革（次期選挙に向けた検証）
中 小 企 業 振 興 委 員 会	29	D X（デジタル田園都市構想）、G X（グリーン成長戦略） コンプライアンス（業界法規制、労務管理、税務会計） 経営改善・事業継続（マル経融資、健康経営、生産性向上、働き方改革、BCP策定推進） スタートアップ（期中5社目標、事業計画策定・資金繰り支援等） 企業誘致促進（地域未来投資促進法）
ス マ ー ト ・ ベ ニ ュ ー 構 想 実 現 委 員 会	19	スマート・ベニュー構想実現 D Xアリーナ・スタジアム
ま ち づ く り ・ 都 市 交 通 委 員 会	31	中心市街地活性化、交通システム、空路利用促進、路線維持対策（鉄道・バス・タクシー・海運・宇野港連携）
文 化 観 光 委 員 会	43	後楽園、岡山城、岡山地域歴史・文化探訪の推進 岡山市内の美術館連携推進、岡山芸術創造劇場、岡山シンフォニーホールなど文化施設連携と文化芸術団体支援（岡山ジュニアオーケストラ、岡山フィルハーモニーなど） 瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流、県民文化祭、岡山国際音楽祭など文化イベントの連携支援、晴れの国おかやま検定
岡 山 ブ ラ ン ド 委 員 会	28	「フルーツパフェの街おかやま」「こだわりの逸品『おかやま果実』」、日本酒（県産酒）県産ワイン、バラ寿司（6月1日市民の日を中心に展開）などに絞り込んだ展開
食 料 ・ エ ネ ル ギ ー 委 員 会	23	経済安全保障、持続可能な企業活動、SDGs、GX 6次産業化推進（儲かる持続可能な農業、移住支援）、農商工連携
お か や ま 魅 力 向 上 委 員 会	11	女性会、青年部、「岡山市民の日」の認知度向上、ビジネス交流、武蔵倶楽部、県内商工会議所交流、東中国四国南北軸交流
人 材 育 成 委 員 会	32	「稼ごう、守ろう、続けよう」ができる中小企業経営者育成 若手経済人育成、ビジョン経営の実践（企業が向かうべき理想の姿に進むために、描く方向性、将来像を示すこと。経営者自身が経営理念をしっかりと持つこと）、おかやま活性化ビジネスプラン大賞 リベラルアーツの浸透推進、ICT人材の育成支援

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
国際委員会	18	サンノゼとの交流とデジタル田園都市研究 タイ交流（シーガルズ・JETROタイアップ） 南オーストラリア州アデレード交流（カーボンニュートラル・アンモニア） 岡山県・南オーストラリア州友好提携30周年事業への参加 韓国・富川商工会議所との交流
スポーツ支援委員会	23	スポーツ振興、トップチーム（ファジアーノ、シーガルズ、トライフープ、リベッツ、BMX）支援
西大寺地域活性化委員会	13	（一社）西大寺活性化協議会活動支援、特別目的会社設立準備支援 西大寺でのアルベルゴ・ディフーズの検討

【特別委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
商工会議所会館 リニューアル 特別委員会	15	商工会議所会館耐震補強、会館整備の推進 ①コンセプト実現に向けた検討とコスト削減の検討 ②建設協力金、補助金、借入金等の検討

2 特別会員

区分	令和5年度末現在会員数
個人	202
法人	822
団体	1
合計	1,025

3 特定商工業者（令和5年4月1日現在）

	総数	内訳	
		会員数	非会員数
特定商工業者数	6,894	2,684	4,210 (1,595)

※（ ）内は非会員のうち負担金納入済業者数

（付記）

地区外転出、廃業等の特定商工業者数

基準日現在の特定商工業者数	地区外転出数	廃業等数	本社引揚数	令和5年度末特定商工業者数
6,894	22	110	3	6,759

4 役員

① 令和6年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数
会 頭	1人	1人
副 会 頭	4	4
副会頭に準ずる者	1	1
専務理事	1	1
常 議 員	41	41
監 事	3	3
常務理事	(2人以内)	0
理 事	3人以内	1

② 令和6年3月31日現在の氏名、企業の名称及び企業上の地位

(役職名)	(氏 名)	(企業の名称及び企業上の地位)
会 頭	松 田 久	両備ホールディングス株式会社取締役副会長
副 会 頭	高 谷 昌 宏	株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長
〃	勝 矢 雅 一	カーツ株式会社代表取締役社長
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園理事長
〃	岡 本 典 久	ライト電業株式会社代表取締役社長
〃	安 原 宗一郎	大紀産業株式会社代表取締役
専務理事	高 橋 邦 彰	岡山商工会議所専務理事
常 議 員	逢 澤 寛 人	アイサワ工業株式会社代表取締役社長
〃	荒 木 雷 太	株式会社荒木組代表取締役
〃	石 井 清 裕	ネットヨタ岡山株式会社代表取締役会長
〃	江 尻 博 子	株式会社岡山スポーツ会館代表取締役
〃	遠 藤 俊 夫	岡山県貨物運送株式会社代表取締役会長
〃	大 塚 祥 文	ライフオス株式会社代表取締役会長
〃	大 森 實	昭和被服総業株式会社代表取締役会長
〃	岡 崎 達 也	岡山ガス株式会社代表取締役社長
〃	岡 崎 正 裕	岡崎運送株式会社代表取締役社長
〃	小 川 健	株式会社キョードー代表取締役社長
〃	梶 谷 俊 介	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
〃	梶 原 康 彦	梶原乳業株式会社代表取締役
〃	桑 田 真 治	おかやま信用金庫理事長
〃	越 磨 潔	中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長
〃	小 林 仁	株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長CEO
〃	里 見 俊 樹	R S K山陽放送株式会社代表取締役社長
〃	末 長 範 彦	岡山土地倉庫株式会社取締役会長
〃	高 木 晶 悟	株式会社トマト銀行取締役社長
〃	武 田 浩 一	株式会社廣榮堂代表取締役
〃	千 原 行 喜	株式会社成通代表取締役
〃	土 井 雅 人	テレビせとうち株式会社代表取締役社長
〃	中 静 敬一郎	岡山放送株式会社代表取締役社長
〃	中 島 基 善	ナカシマホールディングス株式会社代表取締役社長

常 議 員	西 尾 源治郎	西尾総合印刷株式会社代表取締役社長
〃	西 川 智 洋	西日本電信電話株式会社岡山支店支店長
〃	根 木 克 己	株式会社システムタイズ代表取締役
〃	野 口 裕 年	株式会社野口商店代表取締役会長
〃	野 田 好 信	株式会社デンシヨク取締役会長
〃	延 原 正 浩	株式会社マルシン物流代表取締役
〃	原 田 育 秀	株式会社中国銀行取締役専務執行役員
〃	福 武 義 修	福武観光株式会社代表取締役社長
〃	藤 原 恵 子	株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長
〃	古 市 大 藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
〃	前 坂 匡 紀	協同組合岡山情報文化研究所代表理事
〃	梶 本 健太郎	丸正製粉株式会社代表取締役
〃	松 岡 徹	旭ホールディングス株式会社代表取締役社長
〃	松 田 正 己	株式会社山陽新聞社代表取締役社長
〃	三 宅 啓 一	株式会社大本組代表取締役社長
〃	宮 里 隆 志	株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長
〃	若 林 昭 吾	株式会社三好野本店代表取締役会長
〃	渡 邊 育 正	日進ゴム株式会社代表取締役
監 事	梶 谷 周 平	株式会社岡山木村屋代表取締役
〃	蜂 谷 泰 祐	蜂谷工業株式会社代表取締役社長
〃	米 田 光 雄	株式会社ウッディヨネダ代表取締役
理 事	鶴 岡 良 孝	

5 議 員

① 令和6年3月31日現在の定数及び実数

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	64人	64人
2 号 議 員	43	43
3 号 議 員	18	18
合 計	125	125

② 令和6年3月31日現在の各号議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位

1号議員

(氏 名)	(企業の名称及び企業上の地位)
安 藤 喬	日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社顧問
生 本 尚 久	みのる産業株式会社代表取締役社長
石 川 康 晴	イシカワホールディングス株式会社代表取締役社長
岩 坪 誠次郎	日宝総合製本株式会社代表取締役社長
大久保 泰 造	シーアール物流株式会社代表取締役
大 坂 哲 也	株式会社両備リソラ取締役
大 塚 祥 文	ライフォス株式会社代表取締役会長
大 橋 節 子	学校法人創志学園環太平洋大学副理事長・学長

岡	憲	史	株式会社岡山高島屋代表取締役社長
岡	崎	世	双葉電機株式会社代表取締役社長
岡	崎	登	株式会社レイ取締役
岡	本	典	ライト電業株式会社代表取締役社長
小	川	健	株式会社キョードー代表取締役社長
奥	田	宏	オージー技研株式会社代表取締役社長
尾	崎	茂	菅公学生服株式会社代表取締役
小野田	吉	孝	株式会社両備システムズ代表取締役副社長
加	計	孝太郎	学校法人加計学園理事長
勝	矢	雅	カーツ株式会社代表取締役社長
川	本	洋	税理士法人パートナーズ代表社員
窪	田	健太郎	ライフデザイン・カバヤ株式会社取締役社長
黒	瀬	仁	山陽ヤナセ株式会社代表取締役
黒	田	季	株式会社ブックス代表取締役
幸	野	源	株式会社岡山マツダ代表取締役会長
小	林	裕	小林裕彦法律事務所代表弁護士
清	水	富	備前化成株式会社代表取締役社長
曾	田	宏	株式会社ドコモCS中国岡山支店支店長
高	尾	宏	株式会社アルファ取締役
高	山	眞	高山産業株式会社代表取締役社長
坪	井	隆	岡山ヤクルト販売株式会社代表取締役
徳	山	靖	株式会社徳山電機製作所代表取締役
富	山	明	小倉産業株式会社代表取締役
中		俊	ナカウン株式会社代表取締役
長	尾	聡	ナガオ株式会社代表取締役
中	島	範	株式会社中島商会代表取締役副会長
中	島	義	帝人ナカシマメディカル株式会社取締役会長
中	瀬	実	株式会社中電工岡山統括支社執行役員支社長
難	波	圭	オーエム産業株式会社代表取締役社長
延	原	寛	新光運輸株式会社代表取締役
橋	本	明	株式会社トスコ代表取締役
服	部	俊	服部興業株式会社代表取締役社長
平	野	敬	山下産業株式会社常務取締役
平	林	実	平林金属株式会社代表取締役社長
藤	原	竜	株式会社トンボ代表取締役社長
淵	上	司	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社岡山支社支社長
本	郷	旬	セリオ株式会社代表取締役社長
前	坂	匡	協同組合岡山情報文化研究所代表理事
梶	本	健	丸正製粉株式会社代表取締役
松	尾	浩	ダイヤ工業株式会社代表取締役
松	尾	慶	吉備システム株式会社専務取締役
松	岡	徹	旭ホールディングス株式会社代表取締役社長
水	口	彰	株式会社城西設計代表取締役
三	宅	一	株式会社システムエンタープライズ代表取締役
宮	田	正	株式会社岡山製紙代表取締役社長
向	井	常	ユニック中四国販売株式会社代表取締役
室	賀	康	室賀ネジ機工株式会社代表取締役
安	田	猛	安田産業株式会社代表取締役社長

安場直樹	株式会社林原代表取締役
安原宗一郎	大紀産業株式会社代表取締役
山口哲史	社会福祉法人ちとせ交友会理事長
山崎博文	株式会社ジャパン・ネットワークシステムズ代表取締役
山田和範	サンワサプライ株式会社代表取締役社長
山本修司	株式会社岡山コンベンションセンター代表取締役社長
米田光雄	株式会社ウッディヨネダ代表取締役
和田俊博	オカネツ工業株式会社代表取締役

2号議員

浅野哲志	浅野産業株式会社代表取締役
荒木雷太	株式会社荒木組代表取締役
石崎真哉	東京海上日動火災保険株式会社岡山支店支店長
石本正章	アクサ生命保険株式会社岡山支社支社長
井尻昭夫	学校法人吉備学園理事長
江國成基	株式会社天満屋取締役
江尻博子	株式会社岡山スポーツ会館代表取締役
大森實	昭和被服総業株式会社代表取締役会長
岡崎正裕	岡崎運送株式会社代表取締役社長
貝畑拓哉	株式会社カイトックホールディングス取締役
梶谷周平	株式会社岡山木村屋代表取締役
梶谷俊介	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
梶原康彦	梶原乳業株式会社代表取締役
瓦谷祐司	新生電機株式会社代表取締役社長
桑田真治	おかやま信用金庫理事長
榊原敬	社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院理事長・院長
高田聖次	株式会社木村設計代表取締役
高谷昌宏	株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長
武田浩一	株式会社廣榮堂代表取締役
田中一宏	税理士法人田中会計代表社員
田中信行	さんもく工業株式会社代表取締役
谷口怜司	弁護士法人太陽綜合法律事務所弁護士
千原行喜	株式会社成通代表取締役
同前裕一朗	岡山中央魚市株式会社代表取締役社長
永山久仁彦	下津井電鉄株式会社代表取締役社長
永山久夫	岡山プラザホテル株式会社代表取締役会長
西尾源治郎	西尾総合印刷株式会社代表取締役社長
根木克己	株式会社システムタイズ代表取締役
野口裕年	株式会社野口商店代表取締役会長
野田好信	株式会社デンシヨク取締役会長
延原正浩	株式会社マルシン物流代表取締役
蜂谷泰祐	蜂谷工業株式会社代表取締役社長
福武義修	福武観光株式会社代表取締役社長
藤本康久	イオンモール株式会社イオンモール岡山ゼネラルマネージャー
藤原恵子	株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長
古市大藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
本井誠	株式会社ホテルグランヴィア岡山代表取締役社長
森健太郎	学校法人森教育学園理事長

吉田大助	株式会社ビザビ代表取締役
吉永教幸	三輝建設株式会社代表取締役
吉村武大	備前自動車岡山教習所代表
若林昭吾	株式会社三好野本店代表取締役会長
渡邊育正	日進ゴム株式会社代表取締役

3号議員

逢澤寛人	アイサワ工業株式会社代表取締役社長
石井清裕	ネットヨタ岡山株式会社代表取締役会長
遠藤俊夫	岡山県貨物運送株式会社代表取締役会長
岡崎達也	岡山ガス株式会社代表取締役社長
越磨潔	中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長
小林仁	株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長CEO
里見俊樹	R S K山陽放送株式会社代表取締役社長
末長範彦	岡山土地倉庫株式会社取締役会長
高木晶悟	株式会社トマト銀行取締役社長
土井雅人	テレビせとうち株式会社代表取締役社長
中静敬一郎	岡山放送株式会社代表取締役社長
中島基善	ナカシマホールディングス株式会社代表取締役社長
西川智洋	西日本電信電話株式会社岡山支店支店長
原田育秀	株式会社中国銀行取締役専務執行役員
松田久	両備ホールディングス株式会社取締役副会長
松田正己	株式会社山陽新聞社代表取締役社長
三宅啓一	株式会社大本組代表取締役社長
宮里隆志	株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長

6 委員長等（令和6年3月31日現在）

○運営委員会

委員長	石井清裕（ネットヨタ岡山株式会社代表取締役会長）
副委員長	若林昭吾（株式会社三好野本店代表取締役会長）

会員増強小委員会

委員長	高木晶悟（株式会社トマト銀行取締役社長）
-----	----------------------

選挙制度改革（次期選挙に向けた検証）小委員会

委員長	西尾源治郎（西尾総合印刷株式会社代表取締役社長）
-----	--------------------------

○中小企業振興委員会

委員長	梶本健太郎（丸正製粉株式会社代表取締役）
副委員長	根木克己（株式会社システムサイズ代表取締役）
〃	生本尚久（みのる産業株式会社代表取締役社長）
〃	本郷旬（セリオ株式会社代表取締役社長）
担当副会長	勝矢雅一（カーツ株式会社代表取締役社長）

○スマート・ベニュー構想実現委員会

委員長	延原正浩（株式会社マルシン物流代表取締役）
副委員長	高田聖次（株式会社木村設計代表取締役）
担当副会長	高谷昌宏（株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長）

○まちづくり・都市交通委員会

委員長 若林昭吾 (株式会社三好野本店代表取締役会長)
副委員長 里見俊樹 (R S K山陽放送株式会社代表取締役社長)
担当副会長 高谷昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○文化観光委員会

委員長 室賀康史 (室賀ネジ機工株式会社代表取締役)
副委員長 大塚祥文 (ライフオス株式会社代表取締役会長)
〃 大森 實 (昭和被服総業株式会社代表取締役会長)
担当副会長 安原宗一郎 (大紀産業株式会社代表取締役)
会長特別補佐 石井清裕 (ネッツトヨタ岡山株式会社代表取締役会長)

○岡山ブランド委員会

委員長 千原行喜 (株式会社成通代表取締役)
副委員長 梶谷周平 (株式会社岡山木村屋代表取締役)
〃 同前裕一郎 (岡山中央魚市株式会社代表取締役社長)
担当副会長 岡本典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○食料・エネルギー委員会

委員長 逢澤寛人 (アイサワ工業株式会社代表取締役社長)
副委員長 岡崎達也 (岡山ガス株式会社代表取締役社長)
〃 越磨 潔 (中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長)
担当副会長 勝矢雅一 (カーツ株式会社代表取締役社長)

○おかやま魅力向上委員会

委員長 黒田季之 (株式会社ブックス代表取締役)
副委員長 向井常明 (ユニック中四国販売株式会社代表取締役)
〃 水口 彰 (株式会社城西設計代表取締役)
担当副会長 森 健太郎 (学校法人森教育学園理事長)

○人材育成委員会

委員長 岡崎正裕 (岡崎運送株式会社代表取締役社長)
副委員長 石崎真哉 (東京海上日動火災保険株式会社岡山支店支店長)
担当副会長 岡本典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○国際委員会

委員長 吉村武大 (備前自動車岡山教習所代表)
副委員長 藤原恵子 (株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長)
担当副会長 森 健太郎 (学校法人森教育学園理事長)

○スポーツ支援委員会

委員長 黒瀬仁志 (山陽ヤナセ株式会社代表取締役)
副委員長 服部俊也 (服部興業株式会社代表取締役社長)
担当副会長 高谷昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○西大寺地域活性化委員会

委員長 米田光雄 (株式会社ウッディヨネダ代表取締役)
副委員長 徳山靖彦 (株式会社徳山電機製作所代表取締役)
担当副会長 森 健太郎 (学校法人森教育学園理事長)

○商工会議所会館リニューアル特別委員会

委員長 吉田大助 (株式会社ビザビ代表取締役)
副委員長 武田浩一 (株式会社廣榮堂代表取締役)

7 青年部・女性会 (令和6年3月31日現在)

○岡山商工会議所青年部

会 長	上 野 雅 史	(備商株式会社代表取締役社長)
副 会 長	大 饗 千 鶴	(株式会社あすなろコーポレーション代表取締役)
〃	小 林 功 昇	(小林事務機株式会社代表取締役)
〃	古 市 聖一郎	(株式会社トミヤコーポレーション代表取締役)
〃	大 西 肇	(株式会社二鶴堂代表取締役)
〃	野 崎 健太郎	(株式会社ウッディワールドのぞき代表取締役社長)
〃	櫻 内 光 太	(株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ部長)
〃	黒 住 英 之	(日本システムエンジニアリング株式会社代表取締役)
〃	山 田 周 作	(有限会社平成食糧専務取締役)

○岡山商工会議所女性会

会 長	高 田 美紀子	(株式会社MASAYA顧問)
副 会 長	千 田 恵	(株式会社武田製玉部取締役)
〃	木 下 育 子	(新日本サービス有限会社取締役社長)
〃	井 下 由 美	(マスタートーマス有限会社取締役)
〃	稲 岡 美 穂	(一般財団法人淳風会理事)

8 顧問・参与 (令和6年3月31日現在)

○顧 問

岡 山 県 知 事	伊原木 隆 太
岡 山 市 長	大 森 雅 夫
岡 山 県 議 会 議 長	小 倉 弘 行
岡 山 市 議 会 議 長	田 口 裕 士
国立大学法人岡山大学学長	那 須 保 友
日 本 銀 行 岡 山 支 店 長	廣 瀬 敬 久
岡 山 県 経 済 団 体 連 絡 協 議 会 長	中 島 基 善
一 般 社 団 法 人 岡 山 県 銀 行 協 会 会 長	加 藤 貞 則
岡 山 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会 会 長	晝 田 眞 三
岡 山 県 商 工 会 連 合 会 会 長	田 村 正 敏
岡 山 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会 会 長	青 江 伯 夫
株 式 会 社 日 本 デ ザ イ ン セ ン タ ー 代 表 取 締 役 社 長	原 研 哉
	高 谷 茂 男
	徳 山 武 士
	服 部 弘 平
	木 谷 忠 義

○参 与

岡山県産業労働部長
岡山市産業観光局長
独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター所長
岡山市商店会連合会顧問
岡山市農業協同組合常務理事
西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社理事中国統括本部岡山支社長

宮本由佳
小川祥子
淵田裕介
長谷川 誠
山本 到
藤原 乗将

Ⅲ 事務局

1 事務局の機構

各部課の名称及び所掌事務の概要

部 課 名		所 掌 事 務 の 概 要
総務部	総務課	文書の收受、発送、整理、保管に関する事項並びに各課の連絡調整と議員、役員、顧問、参与及び職員に関する事項並びに会議所に所属する土地、建物及び施設の維持管理、営繕並びに貸室、貸会議室等の運用に関する事項を主要業務とする。
	経理課	現金、預金及び有価証券の出納、保管に関する事項並びに会計帳簿の整理、保管を主要業務とする。
事業推進部	企画推進課	地域産業経済、企業経営に関する調査研究及び各種の統計調査並びに新規事業の企画立案に関する事項並びに会議所会報の編集、刊行並びに図書資料の収集、保管及び情報の提供サービスに関する事項並びに都市問題、都市交通、各種検定試験及びその他技能向上のための競技会に関する事項を主要業務とする。
	会員サービス課	会員の募集、会員組織の強化並びに会費の調整、徴収並びに特定商工業者の法定台帳の作成・管理、会員事業所従業員の表彰・親睦、共済制度の普及促進に関する事項を主要業務とする。
	地域振興課	産業技術、産業教育の振興、国際経済交流、講習会等の開催、貿易証明他各種証明に関する事項並びに観光物産、まつりの振興、環境問題に関する事項を主要業務とする。
中小企業支援部	経営支援課	中小企業者特に小規模事業者に対する相談指導を行うため、税務経理に関する事項並びに商工経営の改善合理化に関する事項、労働福祉対策の普及指導に関する事項、労働保険の普及と事務組合の運営に関する事項、社会保険の相談指導に関する事項を主要業務とする。
	金融支援課	制度融資に関する事項、小企業等経営改善資金の融資の審査及び推せんに関する事項、創業・事業承継に関する事項を主要業務とする。
	専門指導センター	専門分野別・業種別問題等にかかる専門的相談指導、経営革新・販路拡大に関する事項、産学官連携に関する事項を主要業務とする。
西大寺支所	総務企画課	西大寺地区の会員サービス、地域振興に関する事項並びに支所の土地、建物及び施設の維持管理、貸室、貸会議室の運用に関する事項を主要業務とする。
	中小企業振興課	西大寺地区の経営改善普及事業全般に関する事項を主要業務とする。

2 事務局役職員

A 主な役員等の役職、氏名（令和6年3月31日現在）

専務理事	高橋 邦 彰
理事、事務局長、事業推進部長	鶴岡 良 孝
総務部長	小山 恵 子
中小企業支援部長	藤原 裕 久
事務局参与	竹本 泉 造
事務局参与	香山 雅 彦
事務局参与	吉田 陽 一
事業推進部次長	黒崎 良 子
事業推進部次長、企画推進課長	山形 章 弘
中小企業支援部次長	枝 純一郎
西大寺支所長、西大寺支所総務企画課長	内田 薫
総務部総務課長	岡崎 知 博
総務部経理課長	楨原 朋 子
事業推進部会員サービス課長	高木 久 志
事業推進部地域振興課長	難波 武 典
中小企業支援部経営支援課長	古矢 博 嗣
中小企業支援部金融支援課長	松岡 幸 司
中小企業支援部専門指導センター課長	川口 公 平
西大寺支所中小企業振興課長	高矢 久 史
総務部総務課長補佐	三好 仁 美
総務部経理課長補佐	父尾 伊公子
事業推進部企画推進課長補佐	合田 有 希
中小企業支援部金融支援課長補佐	石岡 拓 朗
西大寺支所中小企業振興課長補佐	板野 三枝子
西大寺支所中小企業振興課長補佐	妹尾 悟

B 職員数（令和6年3月31日現在）

区分	専任職員	経営指導員	補助員	専門経営指導員	記帳専任職員	広域サポーター	計
男	4人	13人	1人	1人	0人	4人	23人
女	14	4	5	1	1	0	25
計	18	17	6	2	1	4	48

IV 庶務

1 表彰・受章

A. 表彰

令和5年6月22日開催の第122回通常議員総会において次のとおり当所表彰規則に基づく該当者の表彰を行った。
(敬称略)

(1) 規則第2条該当者（在職10年以上議員関係）

○40年以上

末 長 範 彦

○25年以上

延 原 正 浩

福 武 義 修

○15年以上

逢 澤 寛 人

江 尻 博 子

岡 崎 正 裕

岡 本 典 久

梶 原 康 彦

勝 矢 雅 一

根 木 克 己

米 田 光 雄

○10年以上

榊 原 敬

梶 谷 周 平

(2) 規則第5条該当者（勤続10年以上職員関係）

○30年以上

藤 原 裕 久

光 森 玲 子

○15年以上

難 波 武 典

○10年以上

加 藤 大 智

B. 受章

令和5年度中の役員、議員の叙勲、勲章、国家褒章の受章者は次のとおり。(敬称略)

旭日単光章

藤 原 恵 子

2 慶弔・儀礼（主なもの）

令和5年	5月3日	ゴールデンフェスタ岡山2023に松田会頭出席
	6月2日	岡山市プロヴディフ市姉妹都市縁組50周年記念「ポテフの日」式典に松田会頭並びに森副会頭出席
	7月28日 ～31日	日越国交樹立50周年記念 ベトナム ロンアン省訪問団に高谷副会頭、森副会頭、吉村国際委員会委員長、高橋専務理事参加
	8月3日	おかやまSDGsフェア2023閉会式に高橋専務理事出席
	8月12日	在日本大韓国民団岡山県地方本部 第78周年光復節記念式典に松田会頭出席
	8月16日	第75回岡山県文化賞表彰式に松田会頭出席
	8月28日	駐日タイ王国特命全権大使を囲む会に松田会頭並びに高橋専務理事出席
	9月10日	瀬戸内市民芸術祭開会式典に松田会頭出席
	9月15日	全日本BMXフリースタイル選手権オープニングパーティーに松田会頭、高谷副会頭、高橋専務理事出席
	9月23日	2023手話言語の国際デー特別フォーラムに松田会頭並びに高橋専務理事出席
	9月27日	トライフープ岡山B3リーグ2023-24シーズンティップオフパーティーに松田会頭出席
	10月3日	駐神戸大韓民国総領事館「大韓民国国慶日慶祝レセプション」に松田会頭出席
	10月13日	岡山シーガールズ激励会に松田会頭出席
	11月4日	おかやまアーツフェスティバルオープニングイベントに高橋専務理事出席
	11月4日	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ歓迎晩餐会に松田会頭出席
	11月15日	令和5年度おかやま菊花大会表彰式に高橋専務理事出席
	11月26日	岡山市議会議長・副議長就任祝賀会に高谷副会頭、森副会頭、高橋専務理事出席
	11月30日	MOMOTAROH FANTASY 2023点灯式典に高谷副会頭出席
	12月2日	千日前再開発事業完了祝賀パーティーに松田会頭と高橋専務理事出席
	12月5日	ベトナムロンアン省と岡山市の署名式・歓迎夕食会に高谷副会頭、森副会頭、岡本副会頭出席
	12月6日	「第61回岡山県民の警察官」表彰式に高橋専務理事出席
令和6年	1月11日	第82回山陽新聞賞贈呈式に松田会頭出席
	1月12日	令和6年建築関係5団体新年互例会に松田会頭出席
	1月13日	2024年在日本大韓国民団岡山県地方本部新年会に高橋専務理事出席
	1月15日	(一社)システムエンジニアリング岡山 新春互礼会に高橋専務理事出席
	1月16日	(公社)岡山青年会議所 新年賀詞交歓会に松田会頭出席
	1月17日	(一社)西大寺青年会議所2024年度 新年祝賀会に松田会頭出席
	1月24日	北前船交流拡大機構及び地域連携研究所合同新年会に松田会頭並びに高谷副会頭出席
	2月20日	藤原恵子氏 旭日単光章受章祝賀会に高橋専務理事出席
	3月6日	岡山ロータリークラブ創立90周年記念式典・祝賀会に松田会頭並びに高橋専務理事出席
	3月31日	岡山市民会館・岡山市立市民文化ホール閉館記念式典に松田会頭出席

V

会議

第123回通常議員総会



令和6年度事業計画・収支予算（案）及び事務局組織の改編（案）を全会一致で承認

第3回まちづくり・都市交通委員会



岡山芸術創造劇場の草加叔也館長の案内でハレノワを視察

第3回文化観光委員会



岡山カルチャーゾーンの活性化について九州国立博物館の島谷弘幸館長から講話を聞いた

岡山市幹部と当所正副会頭との懇談会



大森雅夫市長をはじめとする岡山市幹部と市内経済の状況やアフターコロナの事業者支援などについて意見を交換

第228回議員総会



会議冒頭に行った「おかやま果実」ブランド認定式

1 議員総会

A. 通常議員総会

第122回通常議員総会

令和5年6月22日

会 場 ANAクラウンプラザホテル岡山

出席者 112名

議 題

<議 案>

1. 役員の選任について

（株）野口商店野口裕年氏を常議員に、蜂谷工業（株）蜂谷泰祐氏を監事に選任することの提案があり、全会一致で承認した。

2. 令和4年度事業報告並びに収支決算について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 会館リニューアルに係る建築設計事務所選定について

2. 定年の引き上げに伴う役職定年について

3. プレミアム付おかやまデジタルマネー実証事業について

4. 令和5年度おかやま桃太郎まつり烏城夏まつりについて

5. ベトナム・ロンアン省との交流について

6. トラック事業者の労働環境改善・取引環境適正化に向けた協力要請、パートナーシップ構築宣言について

7. 岡山総友会・岡山経友会について

<講 話>

「不易流行の大学経営」について

国立大学法人岡山大学 学長 那 須 保 友 氏

第123回通常議員総会

令和6年3月27日

会 場 岡山プラザホテル

出席者 110名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について

アクサ生命保険（株）岡山支社、（株）岡山高島屋、（株）岡山製紙から議員の職務を行う者を変更する届出があった旨の説明を行い、石本正章氏、岡憲史氏、宮田正樹氏の「議員の職務を行う者」への就任を全会一致で承認した。

2. 令和6年度事業計画（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

3. 令和6年度収支予算（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

4. 岡山商工会議所事務局組織の改編（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

5. 事務局組織の改編に伴う事務規則等の一部改正（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

6. 岡山商工会議所会館リニューアルについて
提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 第10回晴れの国おかやま検定の結果について
2. 令和6年度おかやま桃太郎まつり烏城夏まつりについて
3. (公社)被害者サポートセンターおかやまの活動について
4. 日本商工会議所会員増強表彰について

<講 話>

「葬られた歴史」

岡山市長 大 森 雅 夫 氏

B. 臨時議員総会

第227回議員総会（第379回常議員会と合同開催）

令和5年10月13日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 111名

議 題

<議 案>

1. 役員を選任について
(株)中国銀行原田育秀氏、岡崎運送(株)岡崎正裕氏を常議員に、(株)岡山木村屋梶谷周平氏を監事に選任することの提案があり、全会一致で承認した。
2. 新規会員の入会について
提出原案のとおり全会一致で承認した。
3. 令和5年度優良従業員表彰における被表彰者の承認について
提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 商工会議所会館リニューアルについて
2. 部会活動の活性化について
3. 共済キャンペーンについて
4. 岡山市民の日 愛ラブ川柳について

<講 話>

「最近の金融経済情勢について」

日本銀行岡山支店 支店長 廣 瀬 敬 久 氏

第228回議員総会

令和5年12月1日

会 場 ホテルグランヴィア岡山

出席者 114名

議 題

<認定式>

令和5年度こだわりの逸品「おかやま果実」ブランド認定式

<議 案>

1. 部会長（案）について
提出原案のとおり全会一致で承認した。

2. 岡山商工会議所パーパスについて
提出原案のとおり全会一致で承認した。
3. 新アリーナ建設に向けた署名活動について
提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 「岡山商工会議所会報glocal」令和6年度広告依頼について
2. 主要会議スケジュールについて
3. ファジアーノ岡山からの報告について
4. 岡山市民の日 愛ラブ川柳について

2 常議員会

第378回常議員会

令和5年6月14日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 37名

議 題

<議 案>

1. 岡山商工会議所表彰規則に基づく被表彰該当者（案）について
2. 役員の選任について
3. 令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について
4. 会館リニューアルに係る建築設計事務所選定について
5. 定年の引き上げに伴う役職定年について（案）
6. 新規会員の入会について

<その他報告事項>

1. 令和5年度岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金について
2. プレミアム付おかやまデジタルマネー実証事業について

第379回常議員会（第227回議員総会と合同開催）

第380回常議員会

令和6年3月18日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 45名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. 令和6年度事業計画（案）について
3. 令和6年度収支予算（案）について
4. 岡山商工会議所事務局組織の改編（案）について
5. 事務局組織の改編に伴う事務規則等の一部改正（案）について
6. 岡山商工会議所会館リニューアルについて
7. 新規会員の入会について

<その他報告事項>

1. 第10回晴れの国おかやま検定の結果について
2. 令和6年度おかやま桃太郎まつり鳥城夏まつりについて

3 監事会

第71回監事会

令和5年6月1日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 7名

議 題

1. 令和4年度決算関係書類の監査について

4 部会・委員会

【常設委員会】

<運営委員会>

第2回運営委員会

令和5年6月5日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. 岡山商工会議所表彰規則に基づく被表彰該当者（案）について
2. 令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について
3. 会館リニューアルに係る建築設計事務所選定について
4. 定年の引き上げに伴う役職定年（案）について

第3回運営委員会

令和5年10月3日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 22名

議 題

1. 商工会議所会館リニューアルについて
2. 部会活動の活性化について

第4回運営委員会

令和5年11月29日

会 場 日本料理ふくだ

出席者 17名

議 題

1. 部会長（案）について
2. 新アリーナ建設に向けた署名活動について

3. 商工会議所会館リニューアルの進捗状況について

第5回運営委員会

令和6年3月7日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. 令和6年度事業計画（案）について
2. 令和6年度収支予算（案）について
3. 岡山商工会議所会館リニューアルについて
4. 岡山商工会議所事務局組織の改編（案）について

<スマート・ベニュー構想実現委員会>

第2回スマート・ベニュー構想実現委員会

令和5年4月24日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 20名

議 題

1. 岡山における新スタジアムの建設に向けて

ゲスト：(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役社長 北 川 真 也 氏

第3回スマート・ベニュー構想実現委員会

令和5年11月14日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 27名

議 題

1. 新アリーナについて

ゲスト：岡山市 市民生活局 局長 中 原 貴 美 氏

同 局次長 岩 田 修 氏

[視察]

令和5年5月27日

視察先 サンガスタジアム by KYOCERA（京都）

参加者 8名

令和5年6月24日

視察先 Panasonic Stadium Suita（大阪）

参加者 10名

<まちづくり・都市交通委員会>

第3回まちづくり・都市交通委員会

令和5年7月10日

会 場 岡山芸術創造劇場ハレノワ

出席者 28名

議 題

<岡山芸術創造劇場ハレノワ視察>

説 明：岡山芸術創造劇場 館長 草 加 叔 也 氏

1. ハレノワを活用したまちづくりについて

ゲスト：岡山市 市民生活局 局長 中 原 貴 美 氏
岡山芸術創造劇場 プロデューサー 渡 辺 弘 氏

第4回まちづくり・都市交通委員会

令和5年9月1日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議 題

1. 岡山市の都市交通政策について

ゲスト：岡山市 都市整備局都市・交通部交通政策課 課長補佐 秋 永 淳一郎 氏
同 副主査 平 田 晋 一 氏

2. 奉還町商店街の賑わい創出について

ゲスト：奉還町商店街振興組合 理事長 畝 本 伸 三 氏

<文化観光委員会>

第2回文化観光委員会

令和5年5月26日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 29名

議 題

1. 「吉井川流域の歴史・文化」について

ゲスト：林原美術館 館長 谷 一 尚 氏

2. 「岡山市におけるMICEの現状とこれから」について

ゲスト：(株)岡山コンベンションセンター 代表取締役社長 山 本 修 司 氏

第3回文化観光委員会

令和5年8月3日

会 場 岡山市立オリエント美術館

出席者 38名

議 題

1. 岡山市立オリエント美術館 館内見学

2. 岡山カルチャーゾーンの活性化について

ゲスト：九州国立博物館 館長 島 谷 弘 幸 氏

第4回文化観光委員会

令和5年11月1日

会 場 岡山県立博物館

出席者 37名

議 題

1. 岡山県立博物館 館内見学

2. 岡山カルチャーゾーンの活性化について

ゲスト：国立大学法人岡山大学 学術研究院社会文化科学学域 教授 西田陽介氏

第5回文化観光委員会（第3回おかやま魅力向上委員会との合同委員会）

令和6年2月27日

会場 岡山県立美術館

出席者 38名

議題

1. 岡山県立美術館 館内見学
2. 岡山カルチャーゾーンの活性化について

ゲスト：(公社)おかやま観光コンベンション協会 事務局長 青山昌史氏

[視察]

世界遺産長崎・天草、熊本城視察

令和5年6月23日～25日

視察先 端島（軍艦島）、原城跡、島原城、熊本城、天草キリシタン館、天草四郎ミュージアム

参加者 15名

<岡山ブランド委員会>

第1回岡山ブランド委員会（第2回おかやま魅力向上委員会との合同委員会）

令和5年5月1日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 45名

議題

1. 「岡山の郷土料理ばら寿司 新たなブランディングのご提案」について

ゲスト：全国農業協同組合連合会岡山県本部 農産・園芸部 専任部長 小原久典氏

2. 今後の委員会活動について

<食料・エネルギー委員会>

第2回食料・エネルギー委員会

令和5年7月28日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 21名

議題

1. 最近の農業政策について

ゲスト：農林水産省 中国四国農政局 次長 田中晋太郎氏

2. 今後の委員会の活動方針について

第3回食料・エネルギー委員会

令和5年11月28日

会場 岡山ガス(株)

出席者 22名

議 題

1. 岡山ガス㈱「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）視察」
2. 今後の委員会の活動方針について

第4回食料・エネルギー委員会

令和6年2月5日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 22名

議 題

1. 物流から見た日本の経済安全保障について
 ゲスト：国立大学法人岡山大学 社会文化科学研究科 教授 津 守 貴 之 氏
2. 今後の委員会活動について

<おかやま魅力向上委員会>

第2回おかやま魅力向上委員会（第1回岡山ブランド委員会との合同委員会）

令和5年5月1日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 45名

議 題

1. 「岡山の郷土料理ばら寿司 新たなブランディングのご提案」について
 ゲスト：全国農業協同組合連合会岡山県本部 農産・園芸部 専任部長 小 原 久 典 氏
2. 今後の委員会活動について

第3回おかやま魅力向上委員会（第5回文化観光委員会との合同委員会）

令和6年2月27日

会 場 岡山県立美術館

出席者 38名

議 題

1. 岡山県立美術館 館内見学
2. 岡山カルチャーゾーンの活性化について
 ゲスト：(公社)おかやま観光コンベンション協会 事務局長 青 山 昌 史 氏

6月1日岡山市民の日を晴寿司で祝おう会

令和5年6月1日

場 所 岡山駅2階西口広場

参加者 委員会委員ほか岡山市民の日実行委員会メンバー約40名

内 容 岡山駅の通行客に令和のばら寿司「晴寿司」を無料で振る舞い、地元名物料理の素晴らしさを伝えるとともに「岡山市民の日」の認知度を向上させることを目的に実施

<人材育成委員会>

第1回人材育成委員会

令和5年4月5日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. リベラルアーツって何？
ゲスト：(協組)岡山情報文化研究所 専務理事 伊 藤 博 則 氏
2. 今後の委員会活動について

第2回人材育成委員会

令和5年7月24日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 23名

議 題

1. 美術館で経営を考える
ゲスト：(公財)大原美術館 理事長 大 原 あかね 氏
2. 経営理念の浸透について
ゲスト：(一社)岡山県中小企業診断士会 会長 松 本 直 也 氏
3. 今後の委員会活動について

第3回人材育成委員会

令和5年11月21日

会 場 ホテルグランヴィア岡山

出席者 48名

議 題

経営講演会

「日本の経営のBPR」～コーポレートガバナンスとファミリーガバナンス～
講師：オタフクホールディングス(株) 代表取締役社長 佐々木 茂 喜 氏

第4回人材育成委員会

令和6年3月19日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 27名

議 題

1. Z世代、α世代から企業経営のあり方や社会課題解決策について提言を聞く
ゲスト：岡山学芸館高等学校生、山陽学園大学地域マネジメント学部生
2. 今後の委員会活動について

<スポーツ支援委員会>

第2回スポーツ支援委員会

令和5年8月22日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 26名

議 題

1. 「プロスポーツチームの状況」について
ゲスト：(株)ファジアーノ岡山 代表取締役社長 北 川 真 也 氏
地域コミュニケーション推進部長 森 井 悠 氏

岡山シーガルズ(株) 副社長
GM
(株)トライフープ岡山 代表取締役
(株)岡山リベッツ 社長兼監督

藤井守雄氏
中野敬太氏
中島聡氏
白神宏佑氏

2. 今後の委員会活動について

【特別委員会】

<商工会議所会館リニューアル特別委員会>

第3回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和5年4月21日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議題

1. 建築設計事務所の選定について
 - 1-1. スケジュール
 - 1-2. 選定方法（建築設計事務所の選定、比較検討表、調査票）
 - 1-3. 審査会の組成について

第4回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和5年5月23日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議題

1. 建築設計事務所の選考結果について
2. 今後のスケジュールについて

第5回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和5年10月2日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 19名

議題

1. 会館リニューアルスケジュールについて
2. 主な改修計画について
3. デザインについて
4. 施工会社について

第6回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和6年3月4日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 24名

議題

1. 基本設計について
2. 資金計画（案）について

5 小規模事業者経営改善資金審査会

審査会開催回数	42回	
小規模事業者経営改善資金		
審査件数	88件	
推薦件数	88件	
推薦金額	53,882万円	
貸付件数	86件	
貸付金額	53,382万円	
業種別推薦状況		
①製造業	9件	5,003万円
②建設業	23件	13,950万円
③卸売業	4件	3,010万円
④小売業	13件	9,380万円
⑤サービス業	35件	18,759万円
⑥その他	4件	3,780万円

6 フルーツパフェの街おかやま実行委員会

第1回実行委員会

令和5年6月12日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 12名

議 題

1. 令和4年度事業報告及び収支決算について
2. 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

7 こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会

第1回実行委員会

令和5年6月12日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 16名

議 題

1. 令和4年度事業報告及び収支決算について
2. 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 新製品の募集について

8 西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

第1回実行委員会

令和5年7月6日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 18名

議 題

1. 第13回西大寺五福通りレトロ・マルシェの報告について
2. 第14回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について

第2回実行委員会

令和6年1月19日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 19名

議 題

1. 第14回西大寺五福通りレトロ・マルシェの報告について
2. 令和5年度決算報告について
3. 実行委員の一部改定について
4. 次年度開催日について
5. 第15回西大寺五福通りレトロ・マルシェについて

第3回実行委員会

令和6年3月12日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 18名

議 題

1. 第15回西大寺五福通りレトロ・マルシェについて

9 諸会議

(1) 正・副会頭

正・副会頭会議 12回

(2) 行政機関等との懇談会

岡山県幹部との懇談会 5回

岡山市幹部との懇談会 5回

岡山市連合町内会幹部との懇談会 1回

岡山市連合婦人会幹部との懇談会 1回

(3) 岡山商工会議所青年部

総 会 3回

役員会 13回

例 会 10回

岡山県商工会議所青年部連合会

総 会	1 回
臨時総会	1 回
役員会	5 回
総務委員会	4 回
企画委員会	4 回

(4) 岡山商工会議所女性会

総 会	1 回
役員会	12回
例 会	10回

岡山県商工会議所女性会連合会

総 会	1 回
正・副会長会議	3 回

(5) 外郭団体諸会議

岡山県警察友の会

総 会	1 回
理事会	1 回

岡山総友会・岡山経友会

総 会	1 回
合同当番幹事会	4 回
合同例会	11回

岡山経済調査協議会

例 会	12回
視察研修会	1 回

岡山県日韓親善協会

総 会	1 回
理事会（書面審議）	1 回

岡山珠算振興会

総 会	1 回
-----	-----

日本珠算連盟岡山県連合会

総 会	1 回
会長・副会長会議	2 回
理事会	2 回
部 会	3 回

岡山武蔵倶楽部

総 会	1 回
役員会	2 回
例 会	2 回

表町商店街活性化プロジェクト推進協議会

協議会	1 回
-----	-----

(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン

総 会（書面審議）	1 回
-----------	-----

理事会	3回（内、書面審議1回）
(一社)西大寺活性化協議会	
総会	1回
会長・正副理事長会議	3回
理事会	4回
空家まち並み利活用推進委員会	
委員会	1回
観光推進委員会	
委員会	1回
五福通り景観づくりプロジェクトグループ	18回
レンタサイクルワーキンググループ	4回
マップ作成プロジェクトグループ	2回
ご当地・料理土産物開発グループ	10回
ロケ地跡整備フィルムコミッショングループ	1回
犬島観光グループ	1回
観光推進グループ	3回
ガイドブック作成ワーキングチーム	5回
イベント推進委員会	
委員会	2回
情報発信推進委員会	
委員会	1回
伝統的建造物群景観調査委員会	
委員会	1回
北前船調査委員会	
委員会	2回
伝統的な建物調査説明会	1回
住民説明会	1回
西大寺エリアコンセプト説明会	1回
岡山市民の日実行委員会	10回

(6) 関係団体諸会議

おかやま桃太郎まつり鳥城夏まつり実行委員会	
役員会	1回
西大寺青色申告会	
総会	1回
役員会	1回
西大寺青色申告会連合会	
総会	1回
合同役員会	1回
西大寺会陽奉賛会	
役員会	2回
正副会長会議	5回
関係者会議	11回
西大寺間税会	

総 会	1 回
研修会等	2 回
西大寺小売酒販組合	
総 会	1 回
役員会	1 回
研修会	5 回
西大寺酒販協同組合	
総 会	1 回
役員会	1 回
西大寺商店会連合会	
総 会	1 回
役員会	1 回
(一社)西大寺青年会議所	
役員会	12回
例 会	12回
研修会・親睦会	6 回
(公社)西大寺法人会	
総 会	1 回
役員会	3 回
委員会等	8 回
夏まつり西大寺実行委員会	
役員会	2 回
関係者会議	2 回

VI 事業活動

1 各種事業

1. 企業活力の創造

○新型コロナウイルス感染症・エネルギー価格高騰に対する支援を実施

◇新型コロナウイルス感染症対応の経営支援を実施

当所では、中小企業支援部内に「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を開設、管内の中小・小規模事業者を対象に、資金繰り円滑化、雇用維持、販路開拓など、多岐にわたる分野でコロナ対応の経営相談を実施した。

相談に当たっては、岡山県の特別相談員事業等を活用し、中小企業診断士、社会保険労務士等の専門家とともに経営指導員が個別対応を実施し、新型コロナウイルス対策マル経融資（マル新）等制度融資を活用した資金繰り支援、小規模事業者持続化補助金並びに事業再構築補助金活用による販路開拓支援等を実施した。各相談実績は以下のとおり。

小規模事業者持続化補助金	申請：320件	採択：134件
事業再構築補助金	申請：10件	採択：3件
マル経（マル新含む）	推薦：88件	5億3,882万円

◇エネルギー価格高騰対応の経営支援を実施

当所から岡山市への要望により実現した省エネ機器更新緊急支援補助金の申請相談・受付・支給業務を通じて、事業継続、エネルギー価格高騰対策の支援を実施した。各実績は以下のとおり。

第1弾	支給：295件	3億1,036万9千円
第2弾	支給：304件	3億1,290万8千円

○マル経資金による資金繰り支援を実施

無担保・無保証・低利率という有利な貸付条件で小規模事業者に対する経営支援を金融面から補完するマル経資金（小規模事業者経営改善資金）について、制度の健全な運営に努めるとともに迅速な推薦手続きを行い、審査会を年42回開催した。

会報を活用し、マル経制度の紹介記事やチラシを折り込むなど積極的に周知し、その結果、推薦状況は件数88件（前年84件）、金額5億3,882万円（前年5億4,249万円）と前年比件数で104.7%、同金額で99.3%となった。令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い回復基調の事業者が増えてきた一方で、物価高騰の影響やコロナ融資の返済等に苦慮する事業者もありの昨年度と同様の状況となった。

また、原材料・エネルギー価格高騰の影響を受けるなど地域小規模事業者の経営改善の目的で、昨年度に引き続き、岡山市より利子補給が実施された。（利子補給期間は12カ月、利子補給率は1.0%。岡山市の利子補給制度創設後に実行された貸付の借換を除く。）

10月26日には、マル経の創設50周年にあたり、日本政策金融公庫から感謝状の贈呈を受けた。今後も制度の活用を促進していく。



感謝状の贈呈を受ける松田会頭

○「プレミアム付おかやまデジタルマネー実証事業」を実施

地域事業者のDX化推進に向けた「プレミアム付おかやまデジタルマネー実証事業」を実施した。この事業は、(一社)岡山県商工会議所連合会が中心となり、当所を含む岡山県内各地商工会議所が協力したもの。1枚6,000円の商品

券を5,000円で販売(プレミアム率20%)。商品券購入者は専用のアプリ(おかやまデジタルマネーPAY)にチャージし、事前に募った県内会議所会員店舗(669事業者、約1,100店舗)で利用できる。

販売された29,557枚のうち、当所では全体の約56%となる16,647枚を販売した。

○首都圏大規模展示商談会出展事業を実施

食品加工販売を行う小規模事業者を対象に、首都圏への販路開拓を支援する目的で大規模展示商談会「スーパーマーケットトレードショー2024」へ出展した。今回は、幕張メッセにて2月14日から16日までの3日間実施し、2事業者の商品を出展。当所職員と事業者で来場バイヤー延べ260名との商談や商品改善に向けたアンケート調査を行った。参画事業者からは、「見積作成や成約に向けた話が進んでいる」「商品改善に向けた意見が聞けた」などの声があり、販路開拓に向けての貴重な機会となった。



スーパーマーケットトレードショー2024での出展

○「令和5年度おかやま活性化ビジネスプラン大賞」を実施

地域課題や社会課題の解決を図り、地域経済活性化に取り組むビジネスプランを募集する「おかやま活性化ビジネスプラン大賞」(共催：岡山市、市内4商工会)を令和2年度から実施している。

4回目の今回は、11月27日に審査会を実施。当所岡本副会頭ら5人がプランの実現性や経済波及効果などについて審議し、11事業所の応募の中から5社の入賞者を決めた。12月25日には、当所において表彰式を行い、入賞者に松田会頭から賞状盾や賞金目録を贈呈した。



おかやま活性化ビジネスプラン大賞表彰式

大賞(岡山商工会議所会頭賞)には、「一次生産者の販路拡大に強い味方!岡山ファーマーズクラブファン」事業を提案した(株)シンプルを選定。優秀賞には、子どもの健全育成・現役世代の心の健康・障がい者のリラクゼーション「地域の交流場所&くつろぎのサロン」の運営を行う(一社)Ai-careを選んだ。また、奨励賞として、「Z世代の声を反映したビジネスプランの販売」を提案した山陽学園大学地域マネジメント学部、「廃棄野菜を利用した食用コオロギの養殖」を手掛けるInsect Fusion、「フリースクール・通信制高校に特化した学校業務システムの開発・販売」を行う無花果(株)を選定した。

入賞者には、専門家による無料経営相談や補助金申請サポートなどを通じてプランの実現に向けて支援を続けていく。

○伴走型小規模事業者支援推進事業を実施

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的に、事業計画の作成及びその着実な実行支援を行うための「伴走型小規模事業者支援推進事業」を実施した。これは、小規模事業者支援法の「経営発達支援計画」で認定された計画に基づき行うもので、今年度に関しては専門家派遣73件、セミナー4回の実績となった。

○「融資・経営安定特別相談会」を開催

小規模事業者の経営安定化を金融面から支援するため、各種融資制度や経営安定等の個別相談を行う「融資・経営安定」特別相談会を毎月2回開催し、延べ174件の相談があった。融資相談の他、コロナ融資の借換、返済条件変更等の厳しい内容の相談も寄せられた。

○専門家を派遣し経営改善支援事業を実施

当所経営安定特別相談室では、売上減少や資金繰り悪化などの経営に関する諸課題を抱える事業所に対して、中小企業診断士等の専門家を派遣した。倒産危機に陥った事業所に対しては、事業縮小・整理に関する支援も行った。また、融資返済条件変更に関する相談に対し、金融機関に提出するための「経営改善計画」の作成支援を行った。当年度、

当相談室では83件の専門家派遣を行い、小規模事業者の経営改善に積極的に取り組んだ。

○創業スクールを実施

日本政策金融公庫・岡山県信用保証協会との共催により9月9日～10月14日の延べ5日間、岡山商工会議所にて開催し、創業予定者等28名が参加した。中小企業診断士等の専門家が創業までの基本ステップの講義を通じて、ビジネスプランの作成・グループ討議・プレゼンテーション等を実施した。

○事業承継・引継ぎ支援事業を実施

岡山県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、中小・小規模事業者の親族内承継、従業員承継、M&Aの支援を実施した。93社を対象に事業承継簡易診断を実施、内10社に対して承継コーディネーターや会計士・弁護士等の専門家派遣を行い、税務・法務を中心とした課題の解決などスムーズな承継に向けたアドバイス等を実施した。また、親族内承継などを計画する7社に対しては、中期の事業承継計画の作成支援等を実施した。この他、従業員承継やM&Aの相談企業者については、事業引継ぎコーディネーターとともに事業譲渡、買取などの相談対応に当たった。

○「商圏分析レポートサービス」事業を実施

小規模事業者や創業予定者をはじめとした様々な事業者を対象に、事業者自身で行うには困難なマーケット分析について、昨年に引き続き今年度も(株)日本統計センター（本社：北九州市、調査・分析、各種計画策定等を中心としたシンクタンク業務などを実施）と提携し、個社ごとに作成した商圏分析レポートを活用した支援サービスを66者に実施した。

○プレスリリースサポート事業を実施

地域の中小企業は引き続き厳しい経営環境に置かれているものの、舵取りのしやすい小規模であることを活かした新規性のある事業や、社会のニーズに対応したユニークな事業に取り組んでいる企業も少なくない。当所では、こうした企業の地域社会からの認知を高め、企業の業績向上につなげるため、無料でできる情報発信の手段としてプレスリリースサポート事業を行っており、文書の作成や報道機関へのリリース文送付など、広報活動に関する支援をしている。今年度は、岡山経済金融記者クラブや経済情報誌など各種媒体に61件のリリースを実施した。

2. 都市の魅力向上

○第33回北前船寄港地フォーラム in OKAYAMAを開催

江戸中期から明治30年代にかけて活躍した北前船ゆかりの地が交流する「第33回北前船寄港地フォーラム in OKAYAMA」が10月5日・6日岡山県内で開かれた。今回のテーマは「北前船と吉備の穴海～海と川が織りなした文化・産業～晴れの国・岡山から世界へ」。岡山での開催は2017年以来2回目で、今回は当所が事務局を担当、22都道府県から自治体や企業のトップ約380名が参加した。

トークセッションでは、フォーラム実行委員長の松田会頭が西大寺地域の北前船寄港地について言及した。他にも大森雅夫岡山市長や伊東香織倉敷市長など多くの有識者が登壇し、地域の文化・伝統と観光の在り方について紹介した。

フォーラムでは分科会と前夜祭・レセプションを実施。分科会では史跡や博物館、クルージングや作陶などの“体験”を通じて、岡山の地域に根付いた産業や歴史、文化を学ぶとともに前夜祭・レセプションでは地元食材を使用した料理や地酒を楽しみながら国や地域を越えて交流を深めた。

また、フォーラムに先立ち、プレイベントを9月7日岡山市にて開催。開会式では、(一社)北前船交流拡大機構の濱田健一郎理事長が、10月の本番に向けて意気込みを語った。続いて岡山城に移りリニューアルした展示を見学、その



北前船寄港地フォーラム in OKAYAMA

後の懇親会では、北前船ゆかりの自治体の首長や経済界関係者らが交流を深めた。9月8日・9日には井原市と矢掛町の視察を行った。

○新アリーナ建設実現に向けた活動を展開

北長瀬みずほ住座跡地における新アリーナ建設の実現に向け、地元プロスポーツチーム（岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフーズ岡山、ファジアーノ岡山）と当所を含む経済団体が中心となり「新アリーナの建設実現を求める署名運動委員会」を発足させ、建設実現を後押しするため署名運動（目標10万人）を展開した。

署名は専用のチラシ（10人分記入枠）以外にWEB署名の方式も採用し、ポスターやホームページでの告知のほか、各チームホームゲームでの呼びかけや、団体所属会員へ周知協力を仰いだ。

また、令和5年12月11日、令和6年1月19日の両日には、岡山駅後樂園口（東口）広場にて松田会頭の先導による街頭署名運動を実施。署名運動委員会メンバーのほか、岡山県経済団体連絡協議会、当所青年部メンバーとともに、署名用紙やWEB署名用のティッシュを配布し、市民に協力を呼び掛けた。

1月末までに市内、県内外から85,551人分の署名が集まり、2月7日、伊原木隆太岡山県知事及び大森雅夫岡山市長へその結果を報告した。署名運動委員会では、新アリーナの建設実現へ向け今後も署名活動を継続するとともに、活動を通じて新アリーナの必要性を知ってもらうための活動を継続していく。



岡山駅前での街頭署名活動

○アーバンスポーツに関する連携協定を締結

7月21日、当所と岡山市、(一社)全日本フリースタイルBMX連盟（JFBF）は、岡山市役所本庁舎にてアーバンスポーツに関する連携協定を締結した。当日は、市役所構内駐車場でBMXライダーによるデモンストレーションも行われた。

アーバンスポーツは、ジャンプ台を使って回転などの技を競う自転車競技「BMXフリースタイル」をはじめ、スケートボード、ブレイクダンスなどの都市型スポーツ。中でもBMXフリースタイルは東京2020オリンピックで注目を集めたことや、市内にJFBFの本部があり全日本選手権が開催されていること、岡山ゆかりのプレイヤーが多く活躍していることなどからアーバンスポーツに着目、連携してその振興と国内外の観光客誘致、地域活性化を図る。

9月14日～17日に、市役所やイオンモール岡山を会場に「全日本BMXフリースタイル選手権」が開催されるのに合わせ、期間中は市中心部の飲食店、ショップ、ホテルなどでお得なサービスを提供する「OKAYAMA BMX DAYS」を開催した。



アーバンスポーツ連携協定締結式

○おかやま桃太郎まつり烏城夏まつりを開催

当所などで組織するおかやま桃太郎まつり烏城夏まつり実行委員会は、昨年度表町商店街にて開催した「岡山城下山陽道物語」に代わり、8月5日・6日の2日間にわたり、リニューアルされた岡山城にて「烏城夏まつり」を開催した。

岡山の歴史や文化の「体験・体感」とコロナ禍で疎遠となっていた昔ながらの夏まつりをテーマとした本イベントでは、岡山城の入場券の配布や地元アーティスト・学生によるステージショー、岡山グルメを楽しめる出店や子



烏城夏まつり

ども向けの縁日、また岡山城西側ではシャボン玉とスモーク、光による演出を実施するなど家族連れ、若者をはじめ老若男女多くの方が楽しめるコンテンツを展開した。

コロナ禍明けということもあり、数多くの方が来場、まちの文化財を活用した賑わいづくりに繋がる内容となった。

○岡山武蔵倶楽部を運営

在岡の支店長と地元企業経営者らで組織する岡山武蔵倶楽部は、設立20周年を迎え7月4日、記念交流会・令和5年度通常総会を岡山後楽園で開催した。総会議事では、令和5年度役員を選任、令和4年度事業・決算報告並びに令和5年度事業・予算計画、規約の一部改正が承認された。記念行事としては、会の運営に貢献した岡山ガス(株)代表取締役会長の岡崎彬氏と旭ホールディングス(株)代表取締役社長の松岡徹氏に感謝状を贈呈するとともに、能舞台での狂言鑑賞や園内散策などを通して岡山の歴史と文化に触れる会となった。



設立20周年記念交流会での感謝状贈呈

地域の活力を発信しようと例年実施している第20回岡山武蔵倶楽部大賞では、第101回全国高校サッカー選手権大会で県勢初優勝を達成した岡山学芸館高等学校の男子サッカー部を、特別賞には岡山県フィルムコミッション協議会、倉敷高等学校陸上競技部、愛ラブおかやま川柳を選定し表彰式を12月14日に行った。

3月28日の例会では、当所の調査により明らかになった北前船の西大寺寄港の足跡などについて松田会長が会頭として説明し、それを受けて西大寺五福通り等の町並み保存調査について、岡山理科大学建築歴史文化研究センター長の江面嗣人氏が講話をした。

○岡山カルチャーゾーン活性化に関する意見交換会を開催

2月13日、カルチャーゾーンミュージアム連携推進会議の発足に向けた意見交換会を実施。参画団体として、岡山カルチャーゾーンを構成する文化施設、行政、観光団体、商工会議所から34名が出席し、経緯や趣旨、今後の運営について確認した。会長には当所文化観光委員会担当副会頭、副会長には岡山県立博物館館長及び当所文化観光委員長をもってあてる。

またオンラインにて、東京藝術大学社会連携課長の神永彰氏より、岡山カルチャーゾーンの各施設を活用した協働事業の提案について説明があった。

参加者からは「岡山カルチャーゾーンは、美術館や博物館等の文化施設が徒歩圏内に集中している日本全国でも貴重なエリアであり、岡山の観光にとって大きな資源になる。予算や人的資源等の諸課題はあるが、前向きに検討していきたい」等、活発な意見交換が行われた。

○西大寺地域の活性化を(一社)西大寺活性化協議会と共に推進

今年度も(一社)西大寺活性化協議会(会長:松田会頭、理事長:森副会頭)と共に空き家空き店舗の活用、まち並み整備、観光・産業振興などの地域活性化に資する事業を推進し、夢と活気に溢れる西大寺を実現するため活発な活動を行った。

西大寺を中心とする河岸港を北前船寄港地であると文献から認めることができることから「西大寺地域が瀬戸内と吉井川を繋ぐ港町の機能と、観音院を中心とする門前町の機能を併せもつ一大商業圏跡」として日本遺産認定に向けた構成文化財の調査を当所と活性化協議会北前船調査委員会が中心となり実施、岡山市に認定申請を依頼した。

また、令和4年9月に活性化協議会及び地元連合町内会との連名で岡山市に改修要望を提出した西大寺観音院トイレ改修工事は、令和6年度中に着工し、令和7年2月の西大寺会陽開催までに完成の予定となった。

昨年度からはじめた旧松田邸をサテライトスタジオとして発信している「高校生とつくるこちらラジオ西大寺」は、引き続き企画運営を当所はじめ活性化協議会並びにまちづくり関係者と地元の高校生が行った。西大寺の歴史、話題、観光、イベントに様々な角度からスポットを当てホットな情報を届ける生ラジオ番組で、まちづくり関係者や地域の方をゲストに迎え放送した。

○南オーストラリア州経済視察を実施

岡山県と南オーストラリア州との友好提携締結30周年を記念し、10月17日～24日に、伊原木隆太岡山県知事を団長とする記念訪問団と松田会頭を団長とする経済訪問団の合同で南オーストラリア（SA）のアデレード等を訪問した。

18日にアデレードに到着。アデレードコンベンションセンターにてSA州副首相主催レセプションがあり盛大な歓迎を受けた。19日は、SA州総督公邸にて昼食会に参加したほか、アデレード大学にて高等教育関係者や岡山県から留学している大学生と意見交換を行い、夜は高校生・大学生らと交流会が行われ親睦を深めた。20日には、水素パークやトングズリーイノベーション地区を視察。水素プラントの稼働状況やグリーンアンモニア、水素、再生エネルギーの可能性やイノベーション地区への企業進出を呼び込むための施策について担当者から説明を受けた。

その他、ホバートのMONA美術館、世界遺産のポートアサー歴史地区を訪問し見聞を深めた。

参加者名簿（順不同・敬称略）

団長 松田 久 当所会頭・両備ホールディングス(株)取締役副会長
松田 節子 令夫人
森 健太郎 当所副会頭・(学)森教育学園理事長
吉村 武大 当所国際委員会委員長・備前自動車岡山教習所代表
藤原 恵子 当所国際委員会副委員長・(株)フジワラテクノアート代表取締役社長
松井 規代 全日本空輸(株)岡山支店支店長
高橋 邦彰 当所専務理事



新エネルギー産業関係者との意見交換

○「フルーツパフェの街おかやま」事業を実施

旬の果物を使った独創性のあるフルーツパフェを提供し、「食べ歩きの魅力」「集積地としての魅力」を創出することで、全国に岡山県産果物の魅力を発信し、岡山市の産業・観光振興による地域活性化を図ることを目的に実施。

今年度は38店舗の参加があり、参加店並びに市内外観光関連施設へのパンフレットの配布や地域情報誌や旅行ガイド誌等への情報提供、HP及びSNSを活用した情報発信を行うことでPR活動に努めた。8月17日には全国放送のテレビ番組『秘密のケンミンSHOW極』にて「フルーツパフェの街おかやま」や参加店が取り上げられ、全国的な認知度向上につながった。



「フルーツパフェの街おかやま」パンフレット

○「こだわりの逸品『おかやま果実』」事業を実施

岡山県産の果物を使った、こだわりの逸品の基準を満たす果物加工品を「おかやま果実」ブランドとして認定し、全国に発信することにより、フルーツ王国岡山のイメージアップや参加事業者の販路拡大を図ることを目的に実施。

今年度も新製品を募集し、6社13製品を追加認定した。12月1日には、当所議員総会冒頭にブランド認定式を行った。

PR活動として、イオンモール岡山の「ハレマチ特区365」での展示販売や天満屋での「いいものマルシェ」へ出展するなどブランド知名度向上に努めた。

また、令和6年2月6日～8日には東京ビッグサイトにおいて開催された展示会「feel NIPPON春2024」に出展し、販路開拓を支援した。



「おかやま果実」パンフレット

○「晴れの国おかやま検定」表彰式を開催

10月31日、第9回晴れの国おかやま検定（以下「おかやま検定」）において優秀な成績を収めた個人、団体並びに受験者数最多の団体に対し、その功績を称え、おかやま検定への一層の関心と意欲を高めるため岡山県庁にて表彰式を行った。式では、個人優秀成績者として99点を獲得した住吉康邦氏をはじめ、団体受験で最も平均点が高く、さらに受験者数が最多だった「中国銀行」に、横田有次岡山県副知事と松田会頭からトロフィーや楯、副賞が贈られた。



晴れの国おかやま検定表彰式

○第10回晴れの国おかやま検定を実施

2月4日、岡山県と共催し「第10回晴れの国おかやま検定」を実施した。当日は、773名が受験し、得点の高い方から達人[90点以上]18名(2.3%)、博士[60～89点]408名(52.8%)を認定した。認定者には第10回記念デザインの認定証のほかバッジとステッカーを、さらに達人には岡山後楽園や岡山県立美術館の年間パスポート、晴れの国おかやま館商品券、岡山かるたを含む岡山セットを贈呈した。

※（ ）内は受験者773名中の割合

○「岡山市民の日」各種事業を展開

当所、同青年部及び岡山市で組織する「岡山市民の日」実行委員会では、平成24年に岡山市が制定した「6/1岡山市民の日」の更なる認知度向上や定着を目指すため、「第6回愛ラブおかやま川柳」事業及びInstagram開設による認知度向上事業を実施した。川柳については、市民などから過去最多の13,570件もの応募があり、5月31日に山陽新聞さん太ホールにおいて表彰式を開催、入賞作品44作品を表彰した。また、Instagramについても約4,000名のフォロワーを獲得し、観光・イベント情報の発信を通して「市民の日」の普及活動に努めた。また6月1日市民の日当日には、おかやま魅力向上委員会とともに「6月1日岡山市民の日を晴寿司で祝おう会」を開催。



愛ラブおかやま川柳表彰式

岡山駅の通行客に令和のばら寿司「晴寿司」を無料で振る舞い、地元名物料理の素晴らしさを伝えるとともに「岡山市民の日」の認知度を向上させることを目的に実施した。

○西大寺五福通りレトロ・マルシェを開催

西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会は、毎年春と秋に行っているレトロ・マルシェを5月28日と10月8日に開催した。

第13回レトロ・マルシェでは、向州公園のレトロ感を増すため、吉井川の堤防が建設される前の西大寺観音院や向州の写真を展示するコーナーを新設したほか、岡山学芸館高校和太鼓部による演奏が行われた。

第14回レトロ・マルシェでは、五福通りと向州公園の回遊性を高め、今まで以上に町並み観賞を楽しんでもらえるよう、西大寺観音院を新たに会場に加えて開催した。



第14回西大寺五福通りレトロ・マルシェ

会場には、こま回し等のレトロ遊びや色々なグルメを楽しむ家族連れが訪れ、両回とも約12,000人の来場者で賑わった。

○夏まつり西大寺2023を開催

夏まつり西大寺実行委員会は、7月15日に夜待まつり、8月19日に水まつりを西大寺観音院で開催した。

夜待まつりでは、約80店の露店が立ち並ぶ中、踊り連による演舞・西大寺吹奏楽団による演奏等が行われた。午後8時から、協賛者がメッセージを記載した花火玉を含む約1,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩った。

水まつりでは、世界平和を祈って飾られた「ほのあかり」が本堂を照らす中、祈りを象徴した灯りを先祖へ献灯するファイアーパフォーマンス「龍神の送り火」が行われた。

4年ぶりに通常開催された今回の夏まつりには約4万人の観客が訪れ、夏の風物詩が復活したことへの喜びが溢れるイベントとなった。



夏まつり西大寺2023
(夜待まつり)

○第515会西大寺会陽を開催

第515会西大寺会陽が、2月17日、創立110周年を迎えたおかやま信用金庫と創業170周年を迎える菅公学生服株を祝主として西大寺観音院で開催された。

当日は、少年はだか祭りで幕を開け、演舞・会陽太鼓の演奏と続き、花火の打ち上げが終了した午後7時30分からは、肩を組んだ裸衆が「ワッショイ・ワッショイ」の掛け声とともに境内を練り歩いた。

午後9時30分を過ぎると、本堂大床上で激しい揉み合いが繰り広げられ、午後10時、全ての明かりが消される中、2本の宝木が御福窓から投下されると、約9,000人の裸衆が激しい争奪戦を展開した。

4年ぶりに宝木争奪戦が復活した今年の西大寺会陽は、伝統行事の完全復活を印象づける会陽となった。



第515会西大寺会陽

○ファジアーノ岡山「2024年キックオフ交流会」を開催

2月14日、岡山プラザホテルにて、当所と岡山県サッカー協会、ファジアーノ岡山応援連絡会の共催により開催。ファジアーノ岡山を応援する県内の企業・団体等から約380名が出席した。

ファジアーノ岡山森井悠代表取締役副社長の新シーズン方針発表に続いて、木山隆之監督や選手ら約30人が登壇し新加入の13選手を含む全選手の紹介が行われた。

懇親会では、参加者との記念撮影のほか、選手らがこの日のために用意した名刺を渡したり、ユニフォームなどが当たるお楽しみ抽選会を開催し、和やかな雰囲気での交流が行われた。最後に、チームを代表して木山監督が「強いチームになると確信している。J1に上がるために勝って勝って勝ちまくりたい」とチームの躍進を誓った。



2024年キックオフ交流会

○旭川一斉清掃を実施

10月29日、旭川とその周辺地域の環境美化活動を実施し、地域の環境保全並びに海ゴミの削減に寄与することを目的に旭川一斉清掃を実施。本年度は54の団体・企業・個人から1,099名が参加した。

○岡山ビジットアソシエーション事業の推進

当所、岡山市、おかやま観光コンベンション協会で構成する「岡山ビジットアソシエーション」では、岡山市の様々な郷土の素材をブラッシュアップして情報発信することで誘客を図る事業や桃太郎のまち岡山という都市イメージを発信する事業など展開している。それぞれの事業では、造山古墳や宇喜多家に関する歴史対談、デジタル技術を活用して旧城下町エリアを周遊するイベントのほか、8月9日、10日（はくとうの日）の2日間に岡山を代表するフルーツを使用したパフェイベント「おかやま白桃パフェDays」などを実施した。

○世界遺産長崎・天草、熊本城視察を実施

6月23日～25日、文化観光委員会メンバーら15名は長崎・天草地方の遺産群及び熊本城を視察した。当委員会では、歴史と文化を活かした観光振興に取り組む中で、全国各地の観光先進地を訪れている。

令和5年はコロナの5類移行に伴い、観光需要への期待が高まっているため、岡山における観光資源のさらなる活用の参考とすべく、天守閣が復旧した熊本城を中心に長崎・熊本視察を実施した。

長崎県の世界遺産・端島（軍艦島）、原城跡、島原城と、熊本県の熊本城、天草キリシタン館、そして天草四郎ミュージアムを訪れた。波が高く端島（軍艦島）へ上陸はできなかったが、高島石炭資料館にて、日本の近代化を支えた石炭産業の歴史について学んだ。原城跡などでは、天草・島原の乱の壮絶な歴史に触れ、キリシタン史に思いを馳せた。国の重要文化財に指定されている熊本城は平成28年、熊本地震によって大きな被害を受けたが、令和3年に天守閣の復旧が完了し城内の展示も一新され、インバウンドを含めた多くの観光客で賑わっていた。地域ならではの歴史文化を活かした観光資源の在り方や、お城と周辺の町並みを活用した観光振興等について理解を深めた。



文化観光委員会視察

○韓国・富川商工会議所との交流事業を実施

6月29日～7月1日の3日間、松田会頭を団長とする訪問団14名が、2007年に友好交流協定を締結している韓国・富川商工会議所を5年ぶりに訪れた。

29日、仁川空港に到着後、富川市庁舎を表敬訪問し、趙甬翼市長と懇談。その後、映像文化産業に力を入れている同市において1997年から開催されている富川国際ファンタスティック映画祭のオープニングセレモニーに参加した。

30日には富川商工会議所において金鐘欽会長をはじめとする議員らと意見交換し、さらに交流を深めていくことを確認した。その他、市内の半導体企業やアミューズメント施設を視察した。

○中四国南北軸交流懇談会 in 丸亀に参加

11月1日、2日の両日、鳥取、島根、岡山、香川、徳島、高知の42商工会議所で組織する中四国南北軸交流懇談会は、香川県丸亀市において、丸亀商工会議所の主管により交流会を開催。6県から正副会頭や議員、専務理事等97名、当所からは松田会頭、高谷副会頭ほか6名が参加した。

交流会では、丸亀城と猪熊玄一郎現代美術館の視察があった後、丸亀市文化財保存活用課の東信男課長より、「丸亀城物語」と題した講演が行われ、懇親会の後には、まるがめボートレース場を視察した。2日目には、今治造船丸亀事業本部、丸亀うちわミュージアムなどを見学し、参加者との交流を深めた。

○(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン (ADJ) を運営

古民家などの地域資源を活用したまちづくりを推進することを目的とし、「北前船寄港地フォーラム in OKAYAMA プレイメント」の矢掛町、井原市での視察においてはADJ役員より取り組みの説明を行った。また、令和6年1月に東京で開催された北前船交流拡大機構・地域連携研究所の合同新年会で松田会長が講演を行った。

○2023岡山さくらカーニバルを開催

岡山さくらカーニバル実行委員会（当所、岡山県、岡山市など8団体で構成）の主催により、3月31日から4月9日の間、蓬萊橋から相生橋にいたる旭川河川敷で4年ぶりに開催。河川敷では、約50の屋台が立ち並び、家族連れや職場グループがグルメを楽しみながら桜を満喫した。会場周辺は日没から午後9時まで提灯やぼんぼりでライトアップされ、延べ約7万人が訪れた。

○宗忠神社「御神幸」を開催

4月2日、当所、宗忠神社奉賛会主催により開催。平安時代風な和装をまとった約300人の参加者が岡山市内中心部の後楽園までの往復約12キロを練り歩いた。後楽園では「御旅所の儀」が厳かな雰囲気の中執り行われた。

○「ゴールデンフェスタ岡山2023」を開催

岡山市商店会連合会主催、岡山市と当所の共催により5月3日～5日の3日間、市内各商店街と商施設で実施。

初日には、アムスメール上之町シンボルタワー前でオープニングイベントが行われた。イメージソングに合わせたオープニングダンスにはじまり、主催者による開会宣言などが行われ開会した。期間中、毎回好評のワゴンセールに加え、うまいもん市、空くじなしガラポン抽選会、スイーツマーケット、eスポーツ・プログラミング体験会、ネクスト奉還町など多彩な集客イベントが各会場で展開され、家族連れや若者など多くの買い物客で賑わった。

○「備前岡山ええじゃないか2023大誓文払い」を開催

11月3日～5日の3日間、岡山市商店会連合会主催、岡山市・当所の共催により市内各商店街などで開催。今回のコンセプトは「気分はハレバレAKINAIフェス」。

今回は4年ぶりにオープニングイベントを開催。うらじゃ連 旭による演舞により勢い強く開幕した。期間中は、毎回好評の大ワゴンセールをはじめ、ええじゃないかデジタルスタンプラリー、駅前商店街の「eスポーツ体験会」や「奉還町ビアフェス」など各地で多彩なイベントが行われ、多くの買い物客で賑わった。

○おかやま桃太郎まつり MOMOTAROH FANTASY 2023を開催

11月30日から1月8日まで、MOMOTAROH FANTASY実行委員会（当所、岡山市など11団体が構成）の主催により開催。「夜空の幻想空間」をテーマに岡山駅周辺や市役所筋のほか、ハレまち通りが約13万個の電球でライトアップされた。今後の展開を見据えて街路樹イルミネーションを中心に会場展開を行い、駅前広場には、高さ10mのシンボルツリーやシャンパングラスをイメージしたグラスイルミネーションなどを設置し、市役所筋にはクリスマスモチーフにした街路樹・植栽イルミネーションや列柱イルミネーションを飾り付けた。

3. 組織・運営力の強化

○岡山商工会議所パーパスの策定

当所では、社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、岡山商工会議所の進むべき方向性を明確化・共有化することにより、組織に一体感を生み、会員や社会からの共感を得ることを目的に、パーパス（存在意義）、ビジョン（将来像）、ミッション（使命）、バリュー（行動指針）を策定した。併せて理念を明確にした。

策定にあたっては、会頭・副会頭を始め、各委員会の委員長から当所の存在価値や当所に期待することなどのヒアリングを行うとともに、全職員参加のワークショップを行った。



パーパスを表現したロゴマーク

理念－Philosophy－

岡山の商工業の健全な発展を支援するとともに、地域社会全体の豊かさや幸せに寄与する

存在意義－Purpose－

うったては、商工会議所から

「うったて」は、“はじまりを大切にしたい”という気持ちで日常的に使われる岡山県の方言。

語源は万葉の時代に遡ると言われており、一般的には、書道の文字を書く際に半紙に筆を最初に置く書き出しのことを指すが、岡山では物事をはじめることや、そのはじめの段階を表す。

地域経済の中心的な存在・多くの人々が活発に交流する「開かれた場」として、商工会議所が岡山の歴史や文化、伝統を大切にしながらも、様々な「はじまり」を創っていきたいという思いを込めた。

将来像－Vision－

“日本一住みたいウェルビーイングな都市^{まち}おかやま”の実現

創立140周年にあたり策定した2030年に向けたまちづくり提言において、デジタルインフラとグリーンインフラを兼ね備えた持続可能な地域を創造することにより、“日本一住みたいウェルビーイングな都市^{まち}おかやま”の実現をビジョンに掲げた。

使命－Mission－

変革と挑戦により、岡山の未来を切り拓く

創立以来、先人たちは幾多の試練に直面しながらも、果敢に活路を切り拓き、当地商工業の発展と豊かな郷土づくりのために努力を重ねてきた。先行き不透明な激動の時代にあって、私たちは地域の人々や企業にしなやかに寄り添い、前例にとらわれない変革と新しい時代への挑戦を繰り返しながら、岡山^{ハレ}の未来を創っていく。

行動指針－Value－

1. 岡山愛

「岡山が好きだ！岡山を盛り上げたい！」という気持ちと、岡山の魅力を見出す行動力が地域のために活動する商工会議所としての原動力になる。

2. 新たな発想

幅広い分野に常に興味と関心を持って学び続けることにより、変革・挑戦をするための新たな発想を生み出す。

3. 情報の集積地

中立的な立場で事業者や行政、地域の人々の声に耳を傾け、多様な意見、情報の集積地となる。

4. 先導役

主体性を持ち、行政、市民、大学や企業とともに「新たな挑戦」(うったて) をすることで、地域の価値を高め、岡山ブランドを創出する。

5. 共感の輪

岡山商工会議所の取り組みを積極的に情報発信し、理解者や協力者、仲間を増やすことで、岡山商工会議所の存在価値と信頼感を高める。

○商工会議所会館リニューアルの方針を検討

岡山商工会議所会館の耐震補強工事、リニューアルについて、商工会議所会館リニューアル特別委員会を中心に検討を進めた。6月の議員総会において、設計事務所に(株)木村設計を選定、10月の議員総会において、施工会社に(株)大本組、アイサワ工業(株)を選定することが承認された。

基本計画、基本設計作成にあたっては、コストの削減に加え、「市内商工業者のシンボルであり地域経済の拠点として、会館の強靱化を図るとともに、ウェルビーイング・グリーン・クリーン・DXの実現を推進する」というコンセプトの実現を目指し進めた。しかしながら、1月にあがってきた基本設計に基づく工事費概算は、想定金額を大幅に超えていたことから、3月に開催したリニューアル特別委員会、常議員会、議員総会において、資金計画を含め、今後の工事内容について、正副会頭に一任することとした。

○ホームページを8年ぶりにリニューアル

閲覧者にとってより分かりやすく、より役立つ情報発信を目指して、当所のホームページを約8年ぶりにリニューアルした。当所のビジネスサポートのメニューを、「経営に関する相談をしたい」「福利厚生を充実させたい」など目的・ニーズに応じてテーマ別にまとめることで探しやすくしたほか、会員事業者のPRを支援する「会員情報プラザ」のコーナーや、当所支援により会員事業者が発信したプレスリリースの内容などをトップページに掲載し、会員限定



ホームページリニューアル画面

のサービスを充実させた。

○令和5年度（第69回）岡山商工会議所優良従業員表彰式を挙

11月22日、会員事業所へ30年以上勤務する永年勤続従業員を対象にした表彰式が、岡山プラザホテルで挙



優良従業員表彰式

表彰規則第1条該当者（勤続30年以上の永年勤続者）129名

○特定原産地証明書審査担当情報交換会（中堅者研修）を開催

日本商工会議所が主催する特定原産地証明書審査担当情報交換会を12月7日・8日、当所にて開催。経済産業省原産地証明室担当者や日本商工会議所国際部から原産性の基本的な考え方やRCEPにおけるBack-to-Backの発給について説明を受けた。また、児島商工会議所協力のもと株式会社ジャパンプルーにて視察を実施。特定原産地証明における繊維業の加工要件について、実際の現場を見学することで理解を深めた。

2 意見活動

要望日	件名	要望先	要望者
令和5年8月23日	「資源・エネルギー価格高騰などの影響に対する支援強化」の要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和5年11月14日	令和6年度税制改正に関する重点要望	地元選出与党議員	岡山商工会議所
令和5年11月15日	令和6年度岡山県予算編成に関する要望	自由民主党岡山県支部連合会 自由民主党岡山県議団	(一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同
令和5年12月4日	「資源・エネルギー価格高騰などの影響に対する支援強化」の緊急要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和5年12月18日	小規模事業者経営改善資金（マル経資金）に対する利子補給の継続に関する要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同

※詳細は、【資料編】に掲載

3 調査研究

1. 定期調査

○岡山県の景気観測調査

地域情勢を的確に把握し、事業活動の基礎資料とすることを目的に(一社)岡山県商工会議所連合会で実施。県下12商工会議所管内の地場企業を対象に調査し、報告書に取りまとめた。また、景気観測調査で回答のあった企業の中から、特徴のある企業についてその内容や業界動向、トレンドについて補足ヒアリングを行った。

〈当所管内の調査結果〉

調査時期と回収状況（岡山商工会議所管内）

- ・令和5年4～6月期 124社／150社（回収率82.7%）
- ・令和5年7～9月期 129社／149社（回収率86.6%）
- ・令和5年10～12月期 118社／149社（回収率79.2%）
- ・令和6年1～3月期 118社／151社（回収率78.2%）

調査方法 対象事業所にアンケートをWEB・FAXで送付

調査項目 景況、生産額・売上額、受注額、原材料・商品仕入価格、製品・商品販売価格、製品在庫・商品在庫、資金繰り、採算（収益）、従業員（常用）、従業員（臨時）の10項目についての前年同期比実績、来期見通しの比較

4 広報

1. 刊行

A. 定期刊行

○岡山商工会議所会報

会員事業所への情報提供と会員企業からの情報発信を図るため毎月刊行した。中小企業向けの支援策や補助金に関する情報を「支援情報直送便」として重点的に発信するとともに、岡山の近代産業史を振り返る「岡山産業史アーカイブ」を昨年に引き続き掲載した。また、企業の創業・設立から現在、そして未来に向けた様々な戦略を紹介する「明日を拓く企業の戦略」では、当所会員事業所10社を取り上げた。会員企業の情報発信を手助けするために設けている「会員情報プラザ」のコーナーでは、新製品の開発・販売、新規出店など、48社の企業情報をカラー写真とともに無料で掲載し紹介した。

各号の主な内容は以下のとおり。

4月号 そうだったのか！おかやま産業史アーカイブVol.3「岡山初のデパートに、人波おしよせる。」

明日を拓く企業の戦略 第29回（株）大三商行

支援情報直送便

会員情報プラザ 4社

岡山から始める海外展開 シーガルズと共に海外へ

今こそ取り組む！小規模事業者のDX

今月のイチオシ！ パン工房かおりほのか

5月号 そうだったのか！おかやま産業史アーカイブVol.4「岡山経済を100年支える、銀行の銀行。」

岡山商工会議所令和5年度事業計画・収支予算決まる

岡山商工会議所活用法

支援情報直送便

「フルーツパフェの街おかやま」2023年度参加店募集

おかやまパフェ巡り カフェ・ド・アラローム

会員情報プラザ 4社

今月のイチオシ！（有）美笑

6月号 そうだったのか！おかやま産業史アーカイブVol.5「商業人材のタマゴ、大志を抱く。」

明日を拓く企業の戦略 第30回（株）長谷井商店

支援情報直送便

コロナ対策融資の返済が本格化！

会員情報プラザ 4社

ビジネスサポートQ&A第34回 企業に対するインターネット上の風評被害対応について
今月のイチオシ! bib

7月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.6 「武士が始めた商店街、地域に根づく。」
明日を拓く企業の戦略 第31回 備商株
支援情報直送便
岡山から始める海外展開 はじめての輸出を応援します! 「新規輸出1万者支援プログラム」
こだわりの逸品「おかやま果実」2023年度新製品募集中
会員情報プラザ 4社
夏だ! まつりだ! 街へ出よう!
今月のイチオシ! 癒しの森salon

8月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.7 「千日前で、娯楽にひたる。」
明日を拓く企業の戦略 第32回 みのる産業株
支援情報直送便
ポストコロナに向け稼ぐ力を強化しよう
「フルーツパフェの街おかやま」岡山の夏はフルーツパフェ! 皆で巡ろうパフェの街
会員情報プラザ 4社
今月のイチオシ! 和風ダイニングすし舟

9月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.8 「路面電車、城下を北へ。」
明日を拓く企業の戦略 第33回 大和クレス株
支援情報直送便
岡山芸術創造劇場ハレノワグランドオープン!
会員情報プラザ 4社
今月のイチオシ! cafetta 岡山店

10月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.9 「京橋のほとりに、ヒトモノあふれる。」
明日を拓く企業の戦略 第34回 双葉電機株
支援情報直送便
生産性向上や働き方改革にも繋がる環境経営を
会員情報プラザ 4社
地域スポーツ最前線 スポーツは地域を元気にする
おかやまパフェ巡り 広島風お好み焼き おこや
今月のイチオシ! nest CARE CLINIC & SALON

11月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.10 「筋金入りの、フルーツ王国。」
明日を拓く企業の戦略 第35回 (株)重藤組
支援情報直送便
人材を活かして企業は伸びる
第33回北前船寄港地フォーラム 第4回地域連携研究所大会 in OKAYAMAを開催
会員情報プラザ 4社
今月のイチオシ! 慈恩精舎

12月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.11 「五つの福に、願いをこめて。」
明日を拓く企業の戦略 第36回 岡山中央魚市株
支援情報直送便
物流2024年問題インタビュー
晴れの国おかやま検定表彰式
会員情報プラザ 4社

おかやまパフェ巡り 宮下酒造酒工房独歩館 レストラン酒星之耀
今月のイチオシ！ 今八ふたわ

1月号 新年のごあいさつ

支援情報直送便

こだわりの逸品「おかやま果実」2023年度認定新商品

岡山から始める海外展開 輸出の可能性を広げる岡山県産果物の加工品

会員情報プラザ 4社

今月のイチオシ！ Satellite

2月号 そうだったのか！おかやま産業史アーカイブVol.12 「岡山商工会議所、厚生町に根を張って50年。」

明日を拓く企業の戦略 第37回 セリオ(株)

支援情報直送便

「年収の壁」を越えて、企業の成長へ

会員情報プラザ 4社

おかやまパフェ巡り ホテルグランヴィア岡山 ロビーラウンジルミエール

今月のイチオシ！ るーぷ

3月号 そうだったのか！おかやま産業史アーカイブVol.13 「貨車5000両、操車場につめかける。」

明日を拓く企業の戦略 第38回 備前化成(株)

支援情報直送便

「融資・経営安定」特別相談会をご利用ください！

新アリーナ建設実現に向けた署名活動を展開

Eco検定で企業としての環境への姿勢を明確化、団体受験で社員の目線合わせを

労務費の適切な転嫁が経済の好循環を生む

会員情報プラザ 4社

今月のイチオシ！ 焼肉処玉龍

○岡山商工会議所西大寺支所だよりの発行

西大寺支所管内のイベントの紹介を中心に、年3回発行。山陽新聞朝刊へ折込み、各号19,000戸へ配布した。

各号の内容は以下のとおり。

第48号 令和5年4月9日発行

西大寺会陽

高校生とつくるこちらラジオ西大寺

西大寺五福通りレトロ・マルシェ開催案内

税務・経営・補助金申請等に関する専門相談会のお知らせ

第49号 令和5年7月1日発行

(一社)西大寺活性化協議会会員募集

記帳・税務個別相談会のご案内

西大寺会陽太鼓メンバー募集

西大寺青年会議所会員募集

西大寺朝市開催案内

第50号 令和5年10月1日発行

夏まつり西大寺2023協賛寄付者一覧

健康診断実施案内

西大寺五福通りレトロマルシェ開催案内

2. Web広報

○ホームページ及びメールマガジン、SNS、YouTubeでの情報発信

当所で行っている事業やイベント、各種支援メニューの情報を、ホームページやメールマガジン、フェイスブック、X（旧Twitter）、YouTubeを通じて各担当者がタイムリーに発信した。

ホームページはより役立つ情報発信を目指して、リニューアルした。目的・ニーズに応じて、当所のビジネスサポートのメニューを探しやすくしたほか、会員限定のサービスをトップページに掲載した。

3. 会頭記者会見

令和5年度第1回会頭記者会見

令和5年4月25日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和5年1月～3月期）

令和5年度第2回会頭記者会見

令和5年7月25日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和5年4月～6月期）

令和5年度第3回会頭記者会見

令和5年10月31日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和5年7月～9月期）

令和5年度第4回会頭記者会見

令和6年2月2日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和5年10月～12月期）

5 証明・鑑定

- a. 貿易関係証明 1,014件
- 原産地証明 709件 (次ページに統計表掲載)
 - インボイス証明 1件
 - サイン証明 302件
 - 法人証明 1件
 - 営業証明 1件
 - 会員証明 0件
- 令和6年3月31日現在 貿易登録申請業者 106社
- 令和6年3月31日現在 代行業者 2社

- b. 国内取引関係証明 0件

- c. 特定原産地証明書 1,531件

国・地域	件数	国・地域	件数
RCEP	585	フィリピン	0
アセアン	137	ブルネイ	0
インド	337	ベトナム	85
インドネシア	132	ペルー	0
オーストラリア	17	マレーシア	2
スイス	1	メキシコ	5
タイ	230	モンゴル	0
チリ	0	合計	1,531

令和5年度分 原産地証明書 仕向国別・品目別統計表

国別	商品別	1 一般機械	2 電気機器	3 輸送用器	4 精密機器	5 金属又 金属製品	6 化学製品	7 紡績及 繊維製品	8 食料品	9 雑貨	10 その他	合計
アジア	バングラデシュ			77	2							79
	ブルネイ											
	カンボジア											
	中国	89			4	7	156		1	3	28	288
	香港										6	6
	インド	14			1							15
	インドネシア				6						2	8
	韓国					2			1		4	7
	ラオス											
	マレーシア	7										7
	モンゴル											
	ミャンマー											
	アジア	パキスタン										
フィリピン												
シンガポール											1	1
スリランカ												
台湾									26		1	27
アジア	タイ	1						1			7	9
	ベトナム	4			1		2				1	8
	その他	1			1			2				4
	小計	116		77	15	9	158	2	29	3	50	459
	中近東											
中近東	バーレーン											
	イラン											
	イラク											
	イスラエル										2	2
	ヨルダン											
	クウェート							1				1
	レバノン				2							2
	オマーン											
	カタール											
	サウジアラビア											
中近東	シリア											
	トルコ	5			3			14				22
	アラブ首長国連邦	1			3		1	15			1	21
	その他											
小計	6			8		1	30			3	48	
アフリカ	アルジェリア											
	エジプト							1				1
	南アフリカ											
	チュニジア											
	その他	4										4
小計	4							1			5	
欧州	ベルギー						2					2
	デンマーク											
	フランス								3			3
	ドイツ	9									10	19
	ギリシャ											
	オランダ											
	イタリア	12										12
	ポルトガル											
	ロシア											
	スイス											
	スペイン	2										2
欧州	スウェーデン											
	イギリス	2										2
	その他	29			13				58			100
	小計	54		13			2		61		10	140
北米	カナダ	3										3
	アメリカ	1					3					4
	その他											
小計	4					3					7	
中米	アルゼンチン											
	ボリビア	2										2
	ブラジル	1										1
	チリ										1	1
	コロンビア											
	エクアドル											
	メキシコ						45					45
	パナマ											
	パラグアイ											
	ペルー											
中米	ベネズエラ											
	その他											
小計	3					45				1	49	
大洋州	オーストラリア	1										1
	ニュージーランド											
	その他											
小計	1										1	
合計	188		90	23	9	209	33	90	3	64	709	

※内 オンライン発給 61件、外国産原産地証明書 0件

6 各種行事

1. 講演会

○スポーツを活かしたまちづくり講演会

開催日 令和5年10月30日

内容 スタジアムやアリーナなど交流施設を核とした地域活性化の実現に向けた機運醸成

講師 (公財)日本サッカー協会 相談役 川淵三郎氏

参加人数 150名

○新春経済講演会

開催日 令和6年1月12日

内容 2024年の経済展望

講師 多摩大学 特別招聘教授 真壁昭夫氏

参加人数 243名

2. 講習会（講座・セミナー）

○経理業務のデジタル化セミナー

開催日 令和5年7月4日

内容 インボイス制度、電子帳簿保存法への対応と併せて経理業務のデジタル化を検討するための情報を学ぶ

講師 河合中小企業診断士・社会保険労務士事務所 代表 河合正尚氏

参加人数 43名

○「インボイス制度直前対策講座」セミナー

開催日 令和5年7月10日

内容 インボイス制度導入前に再度重点事項のチェック

講師 税理士法人トリプル・ウィン 顧問 星 叡氏

参加人数 91名

○対話型AIツールのビジネス活用

開催日 令和5年7月26日

内容 対話型AIツールに関する最新情報に触れる

講師 イーンスパイア(株) 代表取締役 横田秀琳氏

参加人数 35名

○直前対策インボイス制度導入で取引実務はどう変わる？

開催日 令和5年8月4日

内容 インボイス制度の取引実務の最終確認

講師 かわい公認会計士・税理士事務所 所長 川井隆史氏

参加人数 90名

○インボイス制度直前対策講座

開催日 令和5年8月28日
内 容 インボイス制度の取引実務の最終確認
講師 G-Word 代表 杉山 貴思 氏
参加人数 91名

○商品力向上セミナー

開催日 令和5年8月29日
内 容 価格競争に巻き込まれないためのブランド戦略・コミュニケーション戦略を学ぶ
講師 Dan.style 旦 知子 氏
参加人数 28名

○電子帳簿保存法の実務と対策

開催日 令和5年9月7日
内 容 電子帳簿保存法について解説。基礎的な内容から様々な状況に応じた細かい部分の問題点まで広く情報提供
講師 角谷会計事務所 税理士 神座 真由美 氏
参加人数 72名

○BCP対策セミナー

開催日 令和5年9月8日
内 容 災害等でも事業を継続するためのBCP策定（ハイブリッド）
講師 有まるみ麹本店 代表取締役 山辺 啓三 氏
中小企業診断士 藤井 正徳 氏
参加人数 44名

○SNSを活用した集客・販促術と運用のポイント

開催日 令和5年9月19日
内 容 SNSを活用して小さな会社でも取り組みやすい集客・販促術の最新情報を学ぶ
講師 イーンスパイア(株) 代表取締役 横田 秀琳 氏
参加人数 72名

○デジタル化実践活用法

開催日 令和5年9月28日
内 容 経理業務のデジタル化を検討するうえでの考え方、導入プロセスのほか、クラウド会計サービスの実演も行った
講師 中島典子税理士事務所 代表 中島 典子 氏
参加人数 37名

○グリーン成長が経営にもたらす影響

開催日 令和5年10月24日
内 容 現状の環境問題、資源問題などの情報提供、グリーン成長戦略にかかわるポイントを事例紹介とともに解説
講師 (株)KINO. COM 代表取締役 木下 芳隆 氏
参加人数 10名

○岡山市人材育成セミナー

相手の心を動かす！プレゼンテーションの技術

開催日 令和5年10月26日

内容 商談から社内コミュニケーションまで、より伝わる話し方を習得する

講師 (株)スマイルボイス 代表取締役 倉島麻帆氏

参加人数 70名

○ChatGPTで爆速販促セミナー

開催日 令和5年10月27日

内容 ChatGPTなどのテキストAIを使い、販促を効率化する方法（オンライン）

講師 (株)エイチ・エーエル 渡邊奈月氏

参加人数 61名

○「価格転嫁」の基本と極意

開催日 令和5年10月31日

内容 価格設定・価格交渉の基礎を学び、価格転嫁を実施した事例から今行える効果的な対策方法を分かりやすく解説

講師 ミナト経営(株) 代表取締役 田内孝宜氏

参加人数 16名

○AIに仕事を依頼し人間の仕事を加速させるDX

開催日 令和5年11月9日

内容 AIが仕事に与える影響、ビジネスチャンスについて事例を交えながら分かりやすく解説

講師 イーンスパイア(株) 代表取締役 横田秀琳氏

参加人数 23名

○中途採用成功のために

開催日 令和5年11月15日

内容 中途採用成功のノウハウ、社員の定着率アップ、副業の活用

講師 (株)リクルート グループマネージャー 柿原輝幸氏

参加人数 16名

○知っておきたい、人事評価制度導入と運用のポイント

開催日 令和5年11月20日

内容 企業の人手不足に、採用だけでなく人材育成や人事評価の点からアプローチする

講師 山元経営労務事務所 山元正揮氏

参加人数 20名

○返済負担軽減のための国の施策と経営行動計画作成のポイント

開催日 令和5年11月28日

内容 コロナ融資の返済ができなくなる前に知っておきたい対処法について金融機関出身の講師が解説

講師 川村中小企業診断士事務所 代表 川村浩司氏

参加人数 13名

○インボイス制度実務対策セミナー

開催日 令和5年12月4日

内容 令和5年度消費税法改正点も踏まえながら、会計処理の実際などスムーズに実務対応を行うためのポイントなどを解説

講師 税理士法人トリプル・ウィン 顧問 星 叡 氏

参加人数 52名

○DXで加速させる4つの新しい販促手法セミナー

開催日 令和5年12月6日

内容 具体的にどのように販売促進に取り入れたら良いのか、事例を交えわかりやすく解説

講師 イースパイア(株) 代表取締役 横田 秀琳 氏

参加人数 22名

○飲食店のインスタ活用講座

開催日 令和5年9月14日、28日、10月5日、12日、19日（全5回）

内容 飲食店が使えるインスタの活用方法を習得する（ハイブリッド）

講師 合同会社Liand 叶 迫 明日香 氏

中小企業診断士 難 波 三 郎 氏

参加人数 延べ82名

3. 説明会

○令和5年分青色申告決算・申告無料相談会

開催日 令和6年2月1日～3月15日の延べ11日間

内容 個人事業者の決算、所得税・消費税申告相談

相談員 税理士

参加人数 50名

4. パソコン教室

入学者 179名

5. 健康管理サービス

<本所>

実施日 令和5年7月3日

会場 岡山商工会議所本所

内容 生活習慣病健診

受診者数 123名

<支所>

実施日 令和5年11月10日

会場 百花プラザ

内容 健康診断

受診者数 35名

7 技術技能の普及検定

1. 検定

○参集型統一試験

<簿記検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
164	R5.6.11	1	65	54	8
		2	61	45	7
		3	321	276	55
165	R5.11.19	1	67	57	14
		2	78	53	9
		3	218	176	55
166	R6.2.25	2	109	82	6
		3	192	163	51

<珠算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
228	R5.6.25	申込者数	18	37	62	8	11	5	4	3	148
		実受験者数	18	37	56	8	11	5	4	3	142
		合格者数	4	13	27	5	10	5	4	3	71
229	R5.10.22	申込者数	28	41	50	12	4	6	3	4	148
		実受験者数	28	41	50	12	4	6	3	4	148
		合格者数	7	13	25	8	4	6	3	4	70
230	R6.2.11	申込者数	23	43	58	12	5	11	3	4	159
		実受験者数	22	41	57	11	5	11	3	4	154
		合格者数	9	17	31	9	4	10	2	4	86

<暗算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
148	R5.6.25	申込者数	4	3	20	12	4	0	43
		実受験者数	4	3	20	10	4	0	41
		合格者数	2	2	16	9	4	0	33
149	R5.10.22	申込者数	5	3	14	12	5	2	41
		実受験者数	5	3	14	12	5	2	41
		合格者数	3	1	9	10	5	2	30
150	R6.2.11	申込者数	3	10	25	9	4	1	52
		実受験者数	3	10	22	9	4	1	49
		合格者数	1	9	17	9	4	1	41

<段位認定>

回次	実施期日	申込者数	実受験者数	昇段種目	準初段	初段	準二段	二段	準三段	三段	四段	五段	計
138	R 5.6.25	27	27	珠算	3	3	1	1	1	0	0	0	9
				暗算	1	3	0	1	0	0	1	0	6
139	R 5.10.25	39	39	珠算	8	1	1	2	1	2	0	0	15
				暗算	1	1	2	0	1	0	3	0	8
140	R 6.2.11	29	29	珠算	1	0	4	2	2	0	0	0	9
				暗算	2	0	0	1	1	0	0	1	5

<ビジネス会計検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
33	R 5.10.15	2	20	17	7
		3	111	102	68
34	R 6.3.10	1	2	2	1
		2	28	19	6
		3	71	55	35

<晴れの国おかやま検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
10	R 6.2.4	達人90点以上	871	773	18
		博士60~89点			408

○ネット試験

<日本商工会議所検定>

検定名		級別・種類	申込者数	実受験者数	合格者数
日商簿記		2級	1,400	—	455
		3級	2,140	—	792
		簿記初級	43	41	11
		原価計算初級	4	4	4
電子会計実務		1級	0	0	0
		2級	0	0	0
		3級	0	0	0
リテールマーケティング (販売士)		1級	75	75	11
		2級	87	87	45
		3級	121	121	65
日商プログラミング	EXPERT	C言語	0	0	0
		VBA	0	0	0
		Java	0	0	0
		Python	0	0	0
	STANDARD	C言語	0	0	0
		VBA	0	0	0
		Java	0	0	0
		Python	0	0	0
	BASIC	—	0	0	0
	ENTRY	—	0	0	0

検 定 名		級別・種類	申込者数	実受験者数	合格者数
日商PC	文書作成	1級	0	0	0
		2級	11	11	8
		3級	33	33	23
		ベーシック	2	2	2
	データ活用	1級	0	0	0
		2級	19	19	11
		3級	27	27	22
		ベーシック	2	2	2
	プレゼン資料作成	1級	0	0	0
		2級	1	1	0
		3級	5	5	5
キータッチ2000テスト		—	0	0	0
ビジネスキーボード		—	0	0	0
日商ビジネス英語		—	1	1	0

<東京商工会議所検定>

検 定 名	回次	実施期間	級 別	申込者数	実受験者数	合格者数
カラー コーディネーター	54	R5.6.23～7.10	アドバンス	6	6	1
			スタンダード	14	14	12
	55	R5.10.27～11.13	アドバンス	4	4	1
			スタンダード	6	6	5
ビジネス実務法務	53	R5.6.23～7.10	2級	18	18	3
			3級	19	19	4
	54	R5.12.10	1級	2	2	0
		R5.10.27～11.13	2級	18	18	4
			3級	25	25	9
福祉住環境 コーディネーター	50	R5.7.14～8.3	2級	44	44	8
			3級	7	7	1
	51	R5.12.10	1級	1	1	0
		R5.11.17～12.7	2級	53	53	17
			3級	55	55	11
e c o (環境社会)	34	R5.7.14～8.3	—	121	121	51
	35	R5.11.17～12.7	—	111	111	38
ビジネスマネジャー	17	R5.6.23～7.10	—	12	12	2
	18	R5.10.27～11.13	—	24	24	4

8 業者照会

国内取引

取引件数 16件

国外取引

取引件数 0件

9 経営改善普及事業

1. 一般指導事業

a. 巡回・窓口相談事業

		対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境 対策	事業 承継	BCP	その他	計
巡回 指導	製造業	73	10	142	1	8	12	2	0	0	8	0	16	199
	建設業	95	10	240	0	19	2	0	0	0	0	0	14	285
	小売業	200	23	466	0	16	4	0	0	0	6	0	25	540
	卸売業	30	8	130	0	3	0	0	0	0	0	0	4	145
	サービス業	283	30	671	0	34	6	0	0	0	2	0	72	815
	その他	32	2	97	0	1	0	1	0	0	3	0	7	111
	計	713	83	1,746	1	81	24	3	0	0	19	0	138	2,095
窓口 指導	製造業	134	11	296	9	28	4	1	1	0	10	0	78	438
	建設業	356	17	338	1	127	18	4	0	0	5	0	269	779
	小売業	425	21	585	7	230	22	5	1	0	9	0	164	1,044
	卸売業	86	0	175	0	26	6	2	1	0	0	0	56	266
	サービス業	779	25	1,328	0	293	33	6	0	0	30	3	434	2,152
	その他	90	1	148	0	38	5	0	0	0	2	0	65	259
	計	1,870	75	2,870	17	742	88	18	3	0	56	3	1,066	4,938
合計		2,583	158	4,616	18	823	112	21	3	0	75	3	1,204	7,033
創業 指導	巡回指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窓口指導	14	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	計	14	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
総合計		2,597	162	4,631	18	823	112	21	3	0	75	3	1,204	7,052

b. 講習会等の開催による指導

		経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	事業承継	BCP	その他	計
集団指導	回数	0	0	0	26	11	1	0	0	0	0	0	38
	人数	0	0	0	174	50	16	0	0	0	0	0	240
個別指導	回数	5	5	0	0	33	2	0	0	0	0	8	53
	人数	5	5	0	0	43	2	0	0	0	0	8	63

c. 金融斡旋

		斡旋件数 (件)	貸付件数 (件)	斡旋金額 (万円)	貸付金額 (万円)
マ	ル 経 資 金	88	86	53,882	53,382
会 員 向 け 特 別 融 資		0	—	0	—
合 計		88	86	53,882	53,382

d. 記帳継続指導

記帳指導回数 198 回
 記帳対象事業所 34事業所
 記帳専任職員 1名

2. 専門指導事業

巡回・窓口相談事業

	巡回指導							窓口指導							創業指導			総合計
	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計	巡回	窓口	計	
対象企業数	4	5	9	2	16	1	37	163	181	352	61	521	66	1,344	0	21	21	1,402
指導回数	7	5	14	2	18	1	47	227	238	513	97	856	71	2,002	0	23	23	2,072

10 経営安定特別相談事業

取扱件数	113件	
処理内容	倒産回避	111件
	整理	2件
	調停不能	0件
	継続中	0件

1. 「融資・経営安定」特別相談会

開催日	本所 令和5年4月～令和6年3月 毎月第1・3水曜日
内容	融資・経営安定に関する特別相談
相談員	日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会、岡山市ほか担当者
参加人数	延べ174名

2. 特別相談事業

相談件数	30件
第1四半期	6件
第2四半期	8件
第3四半期	8件
第4四半期	8件

3. 経営安定支援事業

専門家派遣	86件
-------	-----

4. 経営安定セミナー

○企業に対する誹謗中傷の法的対応

開催日	令和5年7月20日
講師	弁護士 鹿室辰義氏
参加人数	29名

○労務トラブル予防のための基礎知識

開催日	令和5年12月12日
講師	片山社会保険労務士事務所 片山 優氏
参加人数	15名

5. 特別相談窓口

<継続している特別相談窓口>

○東日本大震災に関する特別相談窓口	平成23年3月11日設置
○新型コロナウイルスに関する経営相談窓口	令和2年1月29日設置
○ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口	令和4年2月25日設置
○日野自動車サプライチェーン関連中小企業支援対策特別相談窓口	令和4年4月13日設置
○ダイハツ工業サプライチェーン関連中小企業支援対策特別相談窓口	令和6年1月19日設置

11 伴走型小規模事業者支援推進事業

○専門家派遣事業

相談件数 73件

内 訳 販路拡大40件、経営革新14件、ものづくり1件、契約・取引3件、IT化4件、その他経営課題3件、フォローアップ8件

12 共済事業

①小規模企業共済	加入者数	994人
②生命共済制度	加入状況	566事業所 (2,348人)
	加入口数	6,303口
③特定退職金共済制度	加入状況	549事業所 (3,738人)
	加入口数	24,839口
④大型・医療共済制度	加入者数	大型保障プラン701 9人
⑤個人年金プラン	加入者数	11人
⑥がん保険	加入者数	19人
⑦がん治療保険	加入者数	139人
⑧終身保障プラン	加入者数	27人
⑨総合	加入者数	391人
⑩低払型定期保険	加入者数	67人
⑪経営者年金共済	加入者数	2人
⑫業務災害補償プラン	加入状況	980事業所
⑬休業補償プラン	加入者数	222件
⑭情報漏えい損害賠償保険	加入状況	37事業所
⑮ビジネス総合保険	加入状況	689事業所
⑯海外危機対策プラン	加入状況	2事業所
⑰経営セーフティ共済	加入状況	260事業所

○生命共済還元事業 記念品を275社に送付

13 労働保険事務組合事業

受託事業所数 222件 (本所156件、支所66件)

新規受託 3件 (本所2件、支所1件)

受託解除 7件 (本所6件、支所1件)

各種届出

- ・雇用保険被保険者資格取得届 231件 (本所127件、支所104件)
- ・雇用保険被保険者資格喪失届 218件 (本所136件、支所82件)
- ・その他 18件 (本所8件、支所10件)

14 受託事業

1. 汚染負荷量賦課金の徴収業務

委託団体 (独)環境再生保全機構

事業内容 汚染負荷量賦課金徴収業務のうち、96社の申告書等の受理及び点検、提出協力の要請を行った。

2. 容器包装リサイクルの委託業務

委託団体 (公財)日本容器包装リサイクル協会

事業内容 特定事業者から再商品化委託申込の受付及びこれに伴う関連業務を行った。

3. 岡山県職域等に対する自殺予防支援事業

委託団体 岡山県保健福祉部

事業内容 メンタルヘルスについての情報を周知するための動画を作成し、HP等を通じて広く発信した。

4. 制度改正等の課題解決環境整備事業に関する委託業務

委託団体 日本商工会議所

事業内容 各種制度改正や法改正への対応、新型コロナウイルス感染症に対する政府支援施策の活用等に関して、事業者等の相談に応ずるため、専門家の派遣及び個別相談、講習会等を実施し、諸制度改正に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業者等の事業活動を支援した。

5. 環境変化対応型支援事業

委託団体 日本商工会議所

事業内容 新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金値上げ、デジタル化、インボイス制度導入等の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者を支援するため、経営相談体制強化や各種申請サポート対応を行ったほか、小冊子作製やセミナー開催等を行った。

15 補助金申請・採択状況

小規模事業者持続化補助金<一般型>

12次締め 申請：69件 採択：44件

13次締め 申請：92件 採択：48件

14次締め 申請：71件 採択：42件

15次締め 申請：88件

事業再構築補助金

10次締め 申請：8件 採択：3件

11次締め 申請：2件 採択：0件

令和5年度岡山市創業者支援事業補助金

申請：21件 採択：10件

VII 登 録

1 法定台帳

令和5年度特定商工業者について法定台帳を作成し、取引紹介、信用調査等商工関係諸調査、統計資料として運用した。

令和5年度における法定台帳整備件数 6,894件

VIII 会館・事務所等

1 岡山商工会議所ビルディング概要

(本所)

名 称	岡山商工会議所ビルディング
所 在 地	岡山市北区厚生町3丁目1番15号
敷地面積	3,241.98㎡ (980.69坪)
建築面積	1,090.44㎡ (329.85坪)
延床面積	9,845.00㎡ (2,978.11坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地下1階、地上8階、塔屋3階
主要設備	エレベータ：客用 (17人乗) 2基 人荷用 (10人乗) 1基 冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	エポキシボンタイル仕上げ

(支所)

名 称	岡山商工会議所西大寺支所
所 在 地	岡山市東区西大寺中3丁目6番15号
敷地面積	254.52㎡ (76.99坪)
建築面積	187.25㎡ (56.64坪)
延床面積	579.32㎡ (175.24坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上3階、塔屋1階
主要設備	冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	タイル仕上げ

2 各階床面積

(本所)

階 数	床 面 積	貸 室	会 議 室	備 考
地 下 1	1,116.84㎡	360.90㎡	㎡	レストラン・機械室
1	1,010.76		271.25	会議所中小企業支援部、会議室
2	1,035.30	719.98		貸室
3	1,035.30			会議所役員室、事務局
4	1,035.30		701.50	大・中・小会議室
5	1,035.30	640.14		記者クラブ、貸室
6	1,035.30	719.98		貸室
7	1,035.30	719.98		貸室
8	1,035.30	719.98		貸室
塔 屋 1	206.50			倉庫
2	206.50			機械室
3	57.30			機械室
合 計	9,845.00	3,880.96	972.75	

(支所)

階 数	床 面 積	貸 室	会 議 室	備 考
1	187.25㎡	㎡	㎡	
2	194.03	11.47		役員室・支所事務局
3	185.22	11.61	104.56	貸室・貸会議室
塔 屋	12.82			
合 計	579.32	23.08	104.56	

3 岡山商工会議所ビル入居者

(本所)

<地下1階>

ランチ&喫茶プロペラス

<2階>

株式会社アイムファイン、岡山県経営者協会、公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター、岡山東青色申告会、一般社団法人岡山ビルメンテナンス協会、全国ビジネス企業年金基金

<5階>

株式会社あどりえ、ぼう、岡山経済金融記者クラブ、一般社団法人岡山経済同友会、一般社団法人岡山県LPガス協会、一般社団法人岡山県中小企業診断士会、しまのわ司法書士法人岡山事務所、ハウスプラス中国住宅保証株式会社、藤井歯科診療所

<6階>

公益社団法人おかやま観光コンベンション協会、一般財団法人岡山県サッカー協会、岡山県仲人協会、公益社団法人岡山青年会議所、木村・上田司法書士事務所、トライフープ岡山事務局、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ、株式会社プロセス、ライオンズクラブ国際協会336複合地区ガバナー協議会事務局

<7階>

アクサ生命保険株式会社岡山支社、アクサ生命保険株式会社岡山パートナービジネス営業部、株式会社JTC、企業組合日本ユビックコマース、ライオンズクラブ国際協会336-B地区キャビネット事務局

<8階>

経営コンサルタント事業協同組合岡山本部、岡山シーガルズ事務局、岡山働き方改革推進支援センター、株式会社学研エデュケーショナル岡山事務局、キッセイ薬品工業株式会社広島支店岡山営業所、独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、フクビ化学工業株式会社岡山営業所、株式会社リスク

(支所)

<3階>

一般社団法人西大寺青年会議所

4 附帯駐車場の概要

(本所)

所在地 岡山市北区厚生町3丁目1番8
敷地面積 3,767.83㎡
駐車台数 140台
形態 平面駐車場
管理方式 24時間機械式ゲート方式(無人対応)
営業時間 終日(年中無休)

(支所)

所在地 岡山市東区西大寺中3丁目3番14
敷地面積 339.57㎡
駐車台数 14台
形態 平面駐車場

Ⅸ 関係団体への加入及び連繋

1 日本商工会議所

当所は日本商工会議所の議員であり、会頭は常議員に選任されている。

また、以下の委員を委嘱されており、会頭、専務理事が出席し審議に当たっている。

<第32期> 令和4年11月17日～令和7年10月31日

総合政策委員会・産業経済委員会・国際経済委員会・中小企業委員会・教育委員会の委員

○総会、常議員会、委員会等への出席

会員総会	2回
議員総会	5回
常議員会	9回
委員会	8回

2 中国地方商工会議所連合会

当所は中国地方商工会議所連合会の会員であり、会頭は副会長に就任している。

○総会、幹事会 各1回

3 (一社)岡山県商工会議所連合会

当所は(一社)岡山県商工会議所連合会の会員であり、会頭は会長に就任している。

総会	1回
臨時総会	1回
会頭・副会頭会議	2回
岡山県経済戦略会議	1回
岡山県経済6団体と岡山県経済活性化議員連盟との経済懇談会	1回
運営委員会	9回
金融担当者会議	2回
総務・経理担当者会議	1回
商工会議所支援体制強化検討会議	2回
広域経営支援センター会議	5回

4 出資先 (令和6年3月31日現在)

アクサジャパンホールディング(株)	岡山ネットワーク(株)
(株)オービス	(株)T & Dホールディングス
岡山空港ターミナル(株)	(株)TRYHOOP岡山
(株)岡山コンベンションセンター	(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ
岡山シーガルズ(株)	
(株)岡山シティエフエム	
おかやま信用金庫	

X 外郭団体等

1. 外郭団体

当所が事業推進のために中心となって組織し、事務局内で事務を取り扱っている団体

岡山経済調査協議会
岡山芸道保存の会
岡山県警察友の会
岡山県日韓親善協会
岡山珠算振興会
日本珠算連盟岡山県連合会
岡山総友会
岡山経友会
岡山・ミャンマー友好推進会議
岡山武蔵倶楽部
表町商店街活性化プロジェクト推進協議会
日本商工連盟岡山地区
(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン
(一社)西大寺活性化協議会
岡山市民の日実行委員会

2. 事業関係団体及び組織

上記以外で当所が委託を受けて事務を執行し、当所事業活動に関係ある団体及び組織

旭川かわまちづくり計画検討・推進会議
岡山シーガルの活躍に向けた民間活力推進協議会
新アリーナ整備検討チーム
おかやま桃太郎まつり烏城夏まつり実行委員会
おかやま桃太郎まつり納涼花火大会実行委員会
西大寺青色申告会
西大寺青色申告会連合会
西大寺会陽奉賛会
西大寺間税会
西大寺小売酒販組合
西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会
西大寺酒販協同組合
西大寺商店会連合会
(一社)西大寺青年会議所
西大寺地区雇用開発協会
(公社)西大寺法人会
さわやか東備会西大寺地区

夏まつり西大寺実行委員会
「6月1日岡山市民の日」推進協議会

【資料編】

令和5年度に行った意見活動

件名 「資源・エネルギー価格高騰などの影響に対する支援強化」の要望

要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏

要望日 令和5年8月23日

要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

本年5月8日からの新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、飲食・宿泊業やサービス業を中心に業績の回復が見られておりますが、一方では、長期化する原油・原材料価格の高騰や人手不足が我が国経済に大きな影響を及ぼしています。

民間の信用調査会社によると、企業倒産は、依然として増加傾向にあり、コロナ対策としてのいわゆるゼロゼロ融資の元本返済が本格化するなか原油や燃料、原材料等の高騰を価格転嫁できない中小・零細企業を中心に「物価高倒産」がさらに増える恐れがあると分析されています。

岡山商工会議所と岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会及び赤磐商工会といたしましても、地域の中小・小規模事業者の支援機関として、融資・支援金・補助金等の各種申請サポートと経営相談等により、事業者支援に努めてきたところです。

こうした中、岡山市におかれましては、昨年度「岡山市エネルギー価格高騰緊急対策支援金」や「岡山市省エネ機器導入補助金」をはじめ、エネルギー価格高騰に苦しむ企業を救うためのタイムリーな措置を講じていただき、深く感謝を申し上げます。

今年度も岡山市では、原油・原材料価格の高騰の影響を受ける市内中小・小規模事業者に対し「岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金」を6月から実施いただいております。同補助金は、事業設備や機器を更新し、省エネを図りたい事業者への助成を行うものであり、申請者は予算額を大きく上回り、支援ニーズの高さを浮き彫りにしているところであります。

つきましては、資源・エネルギー価格は依然として高止まりの傾向であることから、省エネに繋がる「岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金」の追加実施について格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

令和5年8月23日

岡山商工会議所

会頭 松田 久

岡山北商工会

会長 吉次 立身

岡山西商工会

会長 長谷川 眞一

岡山南商工会

会長 岩田 成美

赤磐商工会

会長 金谷 征正

件名 令和6年度税制改正に関する重点要望

要望先 地元選出与党議員

要望日 令和5年11月14日

要望者 岡山商工会議所

中小企業の円滑な事業承継と自己変革への挑戦を後押しする税制支援を！

2023年11月

岡山商工会議所

日本商工会議所

外形標準課税の適用拡大には断固反対

◆大企業による外形標準課税逃れを目的とした減資等の動きがみられるが、これとは無関係の中小企業に、外形標準課税の対象を拡大することには断固反対。

外形標準課税は賃金課税であって賃上げするほど税負担が増す。今、官民挙げて最大限に取り組みようとしている「構造的・持続的な賃上げ」の方針に完全に逆行。

1. 事業承継税制の延長・恒久化

事業承継税制の特例措置は、地域経済を牽引する“地域貢献企業”の円滑な経営承継・事業継続や、若返りを契機とした生産性向上等に大いに寄与している。一方、3年以上続いたコロナ禍の影響で、承継が遅れているケースがあること、また、中小企業にとって円滑な経営承継は永続的な課題であり、提出期限や特例措置の期限に間に合わない中小企業も多いことから、提出期限の十分な延長と恒久化（一般措置の拡充）が必要である。

- ▶ 事業承継税制の特例措置における特例承継計画の提出期限の延長（2027年12月末まで）
- ▶ 事業承継税制の一般措置の特例措置並みの拡充（対象株式（2/3）の撤廃、猶予割合100%への引上げ、雇用維持要件の弾力化等）
- ▶ 事務負担や猶予取消しリスクの解消（提出書類の一本化・提出先のワンストップ化、5年経過後の報告不要化、書類の提出漏れ等に対する宥恕規定の明確化等）

2. 中小企業向け賃上げ促進税制の延長・拡充

“構造的・持続的な賃上げ”の実現に向け、業況が厳しい中でも賃上げに取り組む中小企業への支援強化を図るべき。

- ▶ 繰越控除措置（欠損金の繰越期間と同様10年間）を創設したうえで、延長すべき

3. 交際費課税特例の延長・拡充

中小企業にとって交際費は、販売促進や新規顧客との関係構築といった営業活動に不可欠な支出である。加えて、未だ続く法人需要の低迷と原材料・エネルギー価格や人件費の増大もあり、中小飲食店の経営環境は依然として大変厳しい。デフレからの脱却と中小飲食店の賃上げ原資の確保に向けた後押しが必要。

- ▶ 交際費の範囲から除かれる飲食費の上限額（現行：1人あたり5千円以下）を2万円以下に上げたうえで、延長すべき

4. 少額減価償却資産特例の延長・拡充

現行制度は、中小企業のバックオフィス業務の生産性向上に大きく寄与しているものの、物価上昇に伴い、限度額を超えるケースが増加している。インボイス制度や電子帳簿保存法への対応を含め、中小企業の生産性向上を一層支援すべき。

- ▶ 対象資産の限度額（30万円未満）および取得合計額の上限（300万円以下）を上げたうえで、延長すべき

5. 中小企業等の第三者承継やグループ化を後押しする税制の延長・拡充

- ▶ 経営資源集約化税制（中小企業事業再編投資損失準備金）の延長・拡充とともに、中堅・中小企業のグループ化を促進する税制を創設すべき

件名 令和6年度岡山県予算編成に関する要望
要望先 自由民主党岡山県支部連合会自由民主党岡山県議団
要望日 令和5年11月15日
要望者 (一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

陳 情 書

令和5年11月15日

自由民主党岡山県支部連合会
自由民主党岡山県議団 殿

岡山県経済団体連絡協議会
一般社団法人岡山県商工会議所連合会
岡山県経営者協会
一般社団法人岡山経済同友会
岡山県中小企業団体中央会
岡山県商工会連合会

令和6年度岡山県予算編成にあたり、下記の事項について重点的に推進されるよう要望いたします。

I. 景気、中小企業・小規模事業者対策に関する要望

日本銀行の令和5年11月の岡山県金融経済月報では、「県内景気は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、ペントアップ需要の顕在化等に支えられて、緩やかな回復を続けている」、「個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、人流が活発化するもとで、飲食・旅行等のサービス分野を中心に増加している」、「企業の業況感が改善するもとで、設備投資は増加している」、そして、「県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとで、横ばい圏内の動きとなっている」としている。

また、一般社団法人岡山県商工会議所連合会では、令和5年7～9月期の岡山県の景気観測調査では、「前年同期（令和4年7～9月期）と比較した「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は前期に比べ3.8ポイント上昇し、3期連続の改善」としており、サービス業でプラス幅が拡大したほか、製造業、建設業、卸売業、小売業でもマイナス幅が縮小し、全業種で改善。経済活動が引き続き拡大していることにより採算が改善し、景況感が上向いたものと見られている。

また、物価高で心配される販売価格については、小売業において上昇が顕著で、川下への価格転嫁の動きが一定程度認められるが、建設業などでは人手不足が深刻化していることから失注の恐れがあるなど、今後の景気拡大に向けて懸念材料もあり、今後の動向を注視していく必要があると考えられている。

現在は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行以来、行動制限が一気に緩和され、人流の増加、なかでも顕著なインバウンドなどにより経済活動が活発化、確実な景気拡大が期待される基調でありながらも、米中対立などによる地政学リスク、深刻さを増す中国経済の減速、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻の長期化に加え、イスラエル・ガザ戦争の勃発など、国際情勢は一層混迷を深めていることから、いつマイナスに転じてもおかしくない状況にある。

また、長らく続いたデフレ経済からの脱却、改善が見られる一方で、原材料、エネルギー、そして2024年問題を控えた物流コストなどの高騰により、実質賃金が物価高に追いついていない状態にあり、賃金と物価の好循環は見いだせないままである。

我が国は、少子高齢化、人口減少による人手不足という負のスパイラルからの早期改善が見込めないなか、生産性向上、高付加価値化など、人材のリスクリングによって、新事業展開等業態転換やDX・GXなどのイノベーションによる社会構造の転換を促進するなど、新しい時代を見据えた取り組みを加速しなければならず、政府においては、11月2日に新たな経済対策を閣議決定して、国として、日本経済を賃金と物価が好循環する「新たなステージ」に移行させるべく、準備が進められている。

こうしたなか、経済6団体では、それぞれの経済団体が、各地域、業界・業種、雇用・労使問題、人材育成、さらには地域課題などに対し、縦糸と横糸を張り巡らせるべく支援・連携体制の強化を図り、地域経済を支える中小企業・小規模事業者とともに活力ある明るい持続可能な地域経済社会実現の期待に応えることができるよう、県として次のような施策を講じられたい。

1. 人件費、原材料・エネルギー・物流コスト等の高騰対策の強化について

- (1) 政府の進める経済対策と歩調をあわせた、物価高対策や持続的成長促進策の実施
- (2) 原材料・人件費等の高騰の中、価格交渉力の弱い中小企業・小規模事業者において、円滑な価格転嫁が可能となるよう、パートナーシップ構築宣言等の周知や、国主導による元請け下請けの共存共栄を図る制度構築の推進
- (3) 県自らの支出である公共工事や物品・サービスの調達などにおいて、適切な価格転嫁を実施する措置と、県委託事業や補助事業において、適正な単価反映による積算により、理由のない増額抑制を行わない配慮措置
- (4) 中小企業・小規模事業者に対するエネルギー価格高騰に関する補助金
- (5) 国の支援対象となっていない特別高圧やLPガスを利用する中小企業・小規模事業者への支援期間の延長
- (6) 原油・原材料価格の高騰下においても、自動車をはじめとした基幹産業を支える地域の企業が、協同組合などの連携力を発揮して取り組む受注確保や経営力強化の取り組みに対する支援のほか、環境対応のため新技術開発や、新分野・異分野進出のための設備導入等に対する支援の継続

- (7) 過度な円安、小麦や食用油の価格高騰、原油高による包装資材や容器、物流コストの上昇などの影響を受け価格転嫁が難しい事業者に対する支援やサプライチェーンに対する支援措置

2. ウィズコロナ・アフターコロナ対策について

- (1) ウィズコロナ・アフターコロナの経済の再生を優先するための新型コロナ対策予算の継続・拡充
- (2) 中小企業・小規模事業者が行う新しい生活様式への取り組みや事業転換に対する使い勝手のよい補助金の創設や国の補助金に対する上乗せ支援
- (3) コロナ禍で販路開拓を目的としたイベントの中止、縮小、延期等により、メーカーやバイヤーとの商談の機会を失った事業者に対するウィズコロナ・アフターコロナ時代の国内外販路開拓支援
- (4) コロナ禍により令和2年に借入した事業者の追加融資は厳しい状況にあることから、保証料や利子補給、返済猶予や既往債務の条件変更等の柔軟な支援
- (5) コロナ禍を教訓に「企業移転と移住の促進」を図る受け入れ環境の整備
- (6) コロナ禍以来、積極果敢に海外展開に挑戦する事業者に対するIT設備導入や人材確保に対する支援
- (7) コロナ禍によって深刻な影響を受けた地域経済を回復し雇用の維持を図るためには、中小企業・小規模事業者に対する支援を強力に推進していくことが必要不可欠であることから、中小企業・小規模事業者支援に対する継続的かつ十分な予算確保
- (8) 長引くコロナ禍において低下した消費意欲を喚起するような付加価値のあるクーポンの発行やキャッシュレス決済時のポイント付与への支援や需要拡大に向けた取り組み支援

3. 中小企業・小規模事業者振興施策の充実について

- (1) 「中小企業連携組織対策事業費」の継続と単価反映
- (2) 生産性向上及び付加価値向上に取り組む企業を支援し、改善モデル企業について組合を通じて横展開などを図り、業界全体の活性化を目的として実施する「サービス産業生産性向上支援事業」について、支援の継続と事業内容の充実
- (3) 中小企業・小規模事業者は、人手不足や高齢化のほか、DXやGXへの取り組み、働き方改革への対応など、多様化する難題・課題に直面しているが、これらの課題に係る相談に、迅速かつ適切に対応するためには、小規模事業者に寄り添って伴走型支援を行う人員や職員の資質向上が不可欠であることから、引き続き必要な予算の確保

- (4) 廃業が増大すると予測されている中小企業・小規模事業者（特に後継者のいない高齢経営者）のためのM&Aマッチングなど円滑な事業承継に対する各種支援
- (5) 原油・原材料高の影響を受けている中小企業を対象として実施している「省エネ設備更新に関する補助事業」について、今後の経済や社会情勢のなかで、更なるエネルギー価格対策が必要となった場合の追加予算措置や、着実な温暖化防止対策を進める上での、今回補助に代わる更新インセンティブの創出
- (6) 廃業の増加による雇用喪失などは地域経済の疲弊を招くことにつながるため、地域で事業を残すことは地域における雇用地域経済の活力維持・向上に重要であることから、機械・設備等の有形資産とともに、技術・ノウハウ・人脈等の無形資産を次の世代に引き継いでいく事業承継への様々な支援
- (7) 中小企業・小規模事業者にとって最低賃金の引上げは、経営に大きな影響があるが、事業の持続的発展に資する取り組みを行い、加えて賃上げを実施する事業者を支援するための助成金・補助金等の支援策拡充とともに、今後急激な最低賃金額アップが行われないよう、地域の実状を踏まえた国等への働きかけ
- (8) 原材料・エネルギー価格高騰、最低賃金引上げ、インボイス制度導入などの事業環境変化に対する支援
- (9) 新たな取り組みを行う企業が、経営革新の認定を受けた際の事業支援（認定事業所向けの補助金等）

4. 中山間地域の施策の充実について

人口減少や少子高齢化が加速する中山間地域において、地域経済や生活環境を持続させることは、切実な地域課題となっている。中小企業・小規模事業者が事業を通じて地域課題の解決に取り組み、地域経済の活性化や生活環境の持続的発展に貢献していくための支援施策について、一層の充実をお願いしたい。

5. 国内外の販路展開支援について

- (1) 食品関連事業者の総合相談窓口である「岡山フードバレーセンター」を活用した首都圏や関西圏等での商談会の開催・運営や、魅力ある県産農産物生産者と食品加工事業者、販売事業者等との円滑なマッチング等の継続支援
- (2) ポストコロナ期において経済活動の再活性化を目指す小規模事業者にとって、販売機会の創出とそのチャンスを有効に活用し売上向上を図ることが喫緊の経営課題となっているが、販売機会の獲得に繋がる商品開発・販売機会の創出に資する事業に対する予算確保
- (3) 岡山県産農産物を活用した加工食品や、地場産業である繊維ならびに伝統的工芸品である備前焼等の関連組合が行う地域のブランド化に対する支援策の継続・拡充

- (4) 地域の経済・雇用・生活を支える中小企業・小規模事業者等が、ポストコロナ時代に対応し事業発展・継続を図るため、デジタル技術を活用し製造者等が消費者に直接販売や情報発信が出来るネットショップ等の構築・運用を支援する制度の創設
- (5) 地域の資源・技術を活用した特産品の普及を後押しするため、商品開発・改良を支援する事業に対する予算拡充
- (6) 国内外における販路開拓におけるジェトロなどと連携したサポートの継続支援
- (7) 中小企業・小規模事業者の販路開拓の取り組みへの支援として、より気軽にテストできる販売の場の提供

6. 金融施策の充実について

ゼロゼロ融資返済開始が本格化するなか、返済負担だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響による体力低下、物価・エネルギー価格の高騰、人手不足や最低賃金の引上げ等、県内中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しく、今後も追加資金や返済緩和等の資金繰りを中心とした支援ニーズは増加することが見込まれることから、専門家派遣等による経営改善計画策定等による経営安定支援の強化に必要な措置や融資制度（据置期間の延長など）の継続・拡充をお願いしたい。

7. 女性経営者・若手経営者・後継者等の育成について

- (1) 女性経営者・若手経営者等を対象としたビジネス連携や経営力強化を支援すべく、働き方改革や人材確保等に向けた女性経営塾の開催や事業承継を見据えた後継者育成支援、ビジネス交流懇談会及び組織化に対する支援策等の拡充
- (2) 地域にとって住民の雇用先確保や地域経済の活力維持・向上を図るためには、その地域の中小企業・小規模事業者が事業を継続し、その地域に必要不可欠な企業を次の世代に引き継いで行くことが重要であることから、地域生活網の維持や雇用創出を実現するための円滑な事業承継やM&Aによる第三者への事業承継支援と事業継続の要となる後継人材の育成等に資する取り組みについて、積極的かつ継続的な支援
- (3) コロナ禍や自然災害など多様化する地域課題に適応し、地域及び地域商工業の持続性向上において重要な役割を果たすべく、若手経営者や後継者を次世代のリーダーとして育成し成長を支援するための取り組みに対する継続的な予算の確保
- (4) 地域経済の持続的発展を実現するためには、新たなビジネスアイデアや地域の課題を解決する革新的な事業を展開する新規創業者の活躍が不可欠となることから、人口減少問題の克服など県経済の安定化及び活性化を図るために、円滑な起業の支援に必要な予算の確保・更なる支援

8. デジタル化・DX推進について

- (1) 原材料・エネルギー価格高騰や人手不足等の事業環境の変化における課題への対応は、DX推進による生産性向上の取り組みは不可欠であることから、中小企業・小規模事業者のDX推進を支援するための専門家を支援機関への配置し、ITの活用等の支援に資する体制整備のための予算、設備投資や技術・ノウハウの習得に向けた支援、専門人材の派遣や人材育成に関する助成措置の拡充
- (2) 同業種ごとに特化したDX化事例の拡充及び、DX化導入を後押しできる経営指導員の育成を支援する「業種別デジタル化推進モデル支援事業」の拡充
- (3) 非対面販売・接客が加速するとともに、ペーパーレスやオンラインを活用したビジネスへのシフトは不可避となっていることなど、業態転換やデジタル化等「ビジネスモデル変革」に取り組む事業者への設備導入・技術指導等に係る費用の助成措置の拡充
- (4) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援
- (5) 中小企業・小規模事業者のDX・GX推進のための補助制度の創設（1件100万円上限）

Ⅱ. 雇用対策に関する要望

今年5月、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、社会・経済活動が正常に戻り始めた。直近9月の全国の有効求人倍率は3カ月連続して1.29倍と横ばいで推移し、雇用情勢は求人が底堅く推移しており、緩やかに持ち直している。

岡山県の有効求人倍率は1.58倍で全国3位の高い倍率となった。新規求人数は卸売り、小売り、宿泊、飲食サービス業を中心に伸び、前年同月比1.1%増、2カ月連続して増加している。新規求職者数も同じく1.2%増、2か月ぶりの増加となっている。

また、来年3月の学卒求人状況を見ると、高校生（9月末現在）の求人数は、7,787人で前年同期比8.5%増加し、大学等（6月末現在）の求人数は3,228人で同じく3.7%増加している。いずれの求人数も3年連続して増加し、地場企業の採用意欲の高まりを反映した格好になっている。

一方、少子化のなかで長期的には県内の生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向が予測され、企業存続、地域発展のための人材確保が一層難しくなるのは確実で、今から将来を展望した幅広い雇用対策が急務となっている。

こうした雇用情勢の中、地域の実情や時代のニーズを踏まえ、多様な人材確保、働き方改革推進、女性の活躍推進、高齢者の就業促進など多方面から有効な雇用政策を早急に打ち出されたい。

1. 新卒者等の雇用確保について

- (1) 地場の中小企業・小規模事業者の人材確保は一段と困難になっており、産学官が連携した合同就職説明会の開催回数等の増強、さらには県外からの参加者を増やすために有効なオンライン開催の支援の継続
- (2) 若者の雇用のミスマッチを防止し、地元就職を促進するため、高校生の就業体験の充実や地場企業と連携したキャリア教育の強化
- (3) 県内就職を促進するため大学生や転職希望者に対して金融機関と連携した準備資金支援策の復活・拡充
- (4) 労働生産性向上を狙いに、中小企業・小規模事業者が取り組むデジタル人材の確保・育成への支援の強化
- (5) 資金的に脆弱な中小企業・小規模事業者が大手就職サイトに登録するなど採用活動に対する補助金等支援措置
- (6) 県内産業の持続的発展に向けて、若者の雇用確保と地元定着及びU I J ターン の促進を目的として実施するインターンシップ、企業説明会（オンライン実施含む）、企業見学バスツアー、就活サポーター制度、奨学金制度導入企業PR等の継続・拡充

- (7) 人口の社会増対策として効果を上げ始めている、県外からのUターン就職を促す奨学金支援事業の継続・拡充

2. 女性・高齢者・障がい者の雇用について

- (1) 仕事と子育ての両立を推進するため、県が県内企業に対して行った「子育て支援に関する調査」の結果を踏まえ、実効ある施策となるよう、国の次世代育成支援対策と連携するとともに、県独自にも女性の活躍推進策の強化
- (2) 少子化時代の多様な労働力の確保に向けて、「70歳までの就業支援講座」の復活など、企業で長年培った技術と経験を活かせるように高齢者の就業確保推進策の拡充
- (3) 障がい者に対する企業の法定雇用率を実現するための支援
- (4) 製造業を中心とした女性経営者等が連携し、働き方改革や多様な人材の雇用確保に取り組む活動に対する支援

3. 外国人留学生の支援とグローバル人材の育成について

- (1) 県内の大学、大学院で学ぶ外国人留学生の県内企業への就職支援策や企業側の受け入れ・定着支援等の強化
- (2) 卒業後に県内企業への就職を目指す学生等への留学支援事業の継続的支援

4. その他雇用対策について

- (1) 高度な専門技術を持つ人材と地場企業との連携を支援する「プロフェッショナル人材戦略事業」の継続的支援
- (2) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援
- (3) 病気治療を続けながら仕事との両立を進める「岡山県地域両立支援推進チーム」の事業に対する支援の継続・拡充
- (4) ワークライフバランス、男性の育児休業、フレックス制度、健康経営優良法人認定制度及び勤務間インターバル制度など、多様で柔軟な働き方の推進や関連法制度に係る普及・啓発事業の拡充
- (5) 中小企業の競争力を高めるために、企業成長の源泉のひとつである「人」への投資として、業界内での現場課題の克服や生産性の向上、新分野への取り組みなどの企業価値向上に資する従業員リスクリング支援事業の拡充
- (6) 少子化対策と若年層の県外流出を食い止めるべく、働きやすい企業環境の構築を目的とした専門家派遣や、子育て応援企業（アドバンス企業含む）の取り組みPRを実施し、企業の競争力強化を支援する各種事業の創設

- (7) 人手不足と高齢化が進むなか、高等技術専門学校等によるシニア労働者向け訓練メニューの拡充などによる意欲ある高年齢者の就業機会拡大支援
- (8) 人手不足と少子化のなかで今後必要性が高まる外国人労働者が、大都市部に集中することなく、地域ごとで安心して働けるよう、住環境(住居確保面など)をはじめとした地域の外国人材受入れ環境整備等の取り組み推進
- (9) 働き方改革や新型コロナウイルス感染症の影響による新たな働き方が生まれるなか、「晴れの国・岡山」においては、豊かな自然と風光明媚な景勝に恵まれており、また比較的災害の少ない土地柄を最大限活かし、働きながら休暇を取れる「ワーケーション」を推進する拠点として環境整備や情報発信の積極的推進
- (10) 新型コロナウイルス感染症の影響による従業員削減や外注先との取引停止など事業縮小後、新型コロナウイルス感染症が沈静化し、経済が動き始めた際の従業員の再雇用や取引先の確保などに対する支援
- (11) 中小企業・小規模事業者の「成長」の源泉のひとつは人への投資であり、企業価値向上に資する従業員のリスクリングは重要であり、企業の実施環境整備とともに、単独では教育が実施しがたい小規模事業者の協働・連携実施等による教育制度の創設と実施の支援
- (12) 働き方改革関連法による物流・運送業界の「2024年問題」で事業者の稼働時間の減少に伴う収入減に対する支援
- (13) 労働人口の減少が進む中、中小企業・小規模事業者の人手不足は深刻さを増していることから、人材確保とあわせ、リスクリングや人材教育、研修開催等に対する支援、また就労機会の創出に向けての再就職、働きやすい環境整備に向けオンラインを活用した在宅ワークなどへの支援
- (14) 「2024年問題」により、物流や建設業界が人手不足による黒字倒産も予想されるなか、外国人労働者活用等の早急な対策
- (15) 新卒の高校生と大学生の県内就職者に対して、就職時に支給する助成金の創設
- (16) 雇用創出の観点から県内への企業・工場の積極的な誘致並びに工業団地の開発や整備
- (17) 人材不足の中小企業・小規模事業者に対する新卒・中途・高齢者雇用支援(企業説明会等)
- (18) 人材不足の中小企業・小規模事業者がIT利用・DX推進による取り組みで生産性向上を図る補助金等支援
- (19) 高度な専門人材と地元企業とのマッチングに新たな仕組みの創設

Ⅲ. 商店街・まちづくりに関する要望

1. 商店街・中心市街地の活性化について

- (1) 商店街や共同店舗組合等の小規模小売商業者が、自らの競争力を強化する目的において実施するイベントやリピーター確保事業の精度を上げるべく、事業計画策定やブラッシュアップを目的とした支援事業の対象拡充
- (2) 中心市街地の新しい土地等活用を促進するための法整備と補助制度の創設（アフターコロナ施策）
- (3) 老朽化した中心市街地の再整備への支援
- (4) 中心市街地活性化策についての専門家派遣への助成
- (5) 年々増加している商店街を含めた「空き店舗」の有効活用におけるマッチング事業への支援や成功事例などの情報提供
- (6) 地域おこし協力隊や地元高校生等との協働による中心市街地活性化策についての専門家派遣等への支援・助成
- (7) 商店街の空き店舗の活用において、市町村では補助金等の支援があるが、県としても補助金等、商店街活性化への支援
- (8) JR駅周辺の再開発に関して、まちづくりの一環として県としての助言や支援及び都市計画法の見直し等、市町村と連携した協議
- (9) 商店街が陰りを見せるなかで一部には個性的な店が新たに出店し、魅力あるまちづくりを担う商店街のにぎわい回復を目指す小規模事業者の創業に対する補助
- (10) 空き店舗・空き地の有効活用の推進のためのランドバンク創設支援

2. 観光産業の復興・活性化について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大により需要が落ち込んだ観光地・宿泊施設・商業集積等において、事業者が自ら商品力を磨き、情報を発信する取り組みや、集客を図る取り組み（イベント）等に対する支援
- (2) 今後本格化が見込まれるインバウンド観光における多言語対応の看板等の整備、「岡山県観光の魅力創造・整備・発信」など観光産業推進に向けた支援の拡充

IV. 国土強靱化に向けた災害対応に関する要望

1. 事業継続力強化を図る防災について

- (1) 近年多発する豪雨災害や南海トラフ地震発生の切迫性によるBCP（事業継続計画）策定・認定に係る専門家の派遣支援や策定した事業者への環境整備に関する補助などの支援や事業継続力強化計画認定のメリット（補助金、入札時の加点等）となる施策の実施
- (2) 平時はもとより災害時にも機能する通信や物流、サプライチェーン構築に向けた施策支援や自助としての「減災」への取り組み支援
- (3) 西日本豪雨災害により被災した地域の復旧は着実に進んでいるが、人口減少のなかでの新規顧客開拓や、アフターコロナへの対応が課題となっており、依然として復興への道のりは遠い状況にあり、継続した支援を要することから、引き続き十分な予算確保
- (4) 地域治水対策の総合的な見直し・推進
- (5) 団地型組合や広域連携を視野に入れた、連携型BCPに関する普及支援や計画作成支援及び組合等に災害時を見据えた旗振り役としての「防災士」育成支援の拡充
- (6) 頻発する自然災害等の緊急事態により、事業者は常に経営リスクと隣り合わせの状況にあるが、平時から経営基盤を強固にする備えにより、取引先や顧客からの信用を維持、事業継続力強化に取り組むべく、中小企業・小規模事業者の事業継続力強化を図るため、引き続きリスク対策を講じるための支援
- (7) 災害時に電柱の倒壊による道路の遮断防止や電力供給、通信回線保全のため、緊急車両輸送道路（羽島四十瀬線）をはじめ幹線道路の早期電線地中化
- (8) 国道53号の一部高規格化（ミニバイパス）金川～誕生寺の推進
- (9) 防災面のみならず、流通の効率化などストック効果も期待できることから、道路橋梁や港湾施設など老朽化したインフラ対策の更なる推進
- (10) 瀬戸内コリドー構想の促進について、瀬戸内海沿岸と島しょ部を空飛ぶクルマやドローンで人流・物流において社会課題を解決するための飛行ルートやパーティカルポート構築など岡山県を起点に瀬戸内の次世代モビリティ航空管制を支援

V. 地域振興、地域プロジェクト等に関する要望

1. 地域振興、活性化を図るための各地域対策について

- (1) 岡山商工会議所140周年事業「2030年に向けたまちづくり提言」に基づいて実行する活性化事業（カーボンニュートラルの実現、DX・GXの推進、スマート・ベニュー構想）への支援【岡山会議所】
- (2) 高齢化が進み街の活力を失いつつある「西大寺地域の活性化」支援【岡山会議所】
- (3) 阿知三丁目市街地再開発事業「あちてらす倉敷」も含め、倉敷駅南の開発が進むなか、南北の一体化と交通渋滞緩和を図るための倉敷駅前付近連続立体交差事業と水島臨海鉄道の倉敷駅への乗り入れ事業の推進支援【倉敷会議所】
- (4) 新産業創出のための航空宇宙産業推進及び次世代モビリティによるサービス産業の育成【倉敷会議所】
- (5) 美観地区が組織化され、昨年発足「くらしき美観地区事業者振興会」の積極的な支援【倉敷会議所】
- (6) 企業の戦略的な健康経営を推進するための優遇税制や自治体など入札でのポイント付与等各種制度の整備【倉敷会議所】
- (7) 水島コンビナートのカーボンニュートラル（CN）について、大手企業の情報開示とサプライチェーンである地域企業の連携は不可欠であるため、大手企業のCN実装と平行して地域産業への情報開示及び啓発により産業構造の改革を図る制度設計の指導【倉敷会議所】
- (8) ベンチャー、スタートアップ企業誘致に係る補助制度の創設【津山会議所】
- (9) 県施設の岡山市一極集中の是正及び分散化による地方創生の加速【津山会議所】
- (10) 宿泊施設が不足しており、新倉敷駅周辺へホテル等施設の誘致及び建設の支援【玉島会議所】
- (11) 都市計画法に基づく市街化区域と市街化調整区域（農業振興地域）の線引きが、現在の玉島の状況と合致しておらず開発許可に支障が出ているため、倉敷市と協議しながらの線引きの見直し（農振除外等）推進【玉島会議所】
- (12) 玉島の溜川周辺の浚渫に関し、近年の異常気象を鑑み浸水被害が発生する前に、倉敷市の出方を待ち動くのではなく、県主導で早急な計画を組んで浚渫等による堆積したヘドロの除去【玉島会議所】
- (13) 昨年より玉島商工会議所主催で毎年開催している玉島ハーバーフェスティバルについて、地域振興と地元事業者の活性化を目的に集客に努めているが、県の港湾関係が絡むことから県に陳情や要請することが多いことから、今まで以上の補助や支援【玉島会議所】
- (14) 新水島港(玉島E地区埠頭)は水深も十分あり、大型クルーズ船の入港は可能であることから大型クルーズ船寄港による外国人観光客誘致のための航路の開発【玉島

会議所】

- (15) 宇野港の新港湾計画の策定及び株式会社パワーエックスに続く企業進出を図るため、田井新港貯木場の埋め立てによる工業用地の拡大【玉野会議所】
- (16) 中心市街地にある宇野港を観光港として発展させるため、広く民間から商業施設整備を含むグランドデザインのプロポーザルの公募【玉野会議所】
- (17) 地域の活性化と国際化に繋がる大型クルーズ船誘致活動の支援【玉野会議所】
- (18) レガシーである宇高連絡船の記念館の建設支援【玉野会議所】
- (19) 地域の抱える人手不足問題を解消するために県外からの移住者、外国人技能実習生に対する居住等の助成支援【玉野会議所】
- (20) 瀬戸内海国立公園指定90周年を迎え、世界に誇る風光明媚な瀬戸内エリアの情報発信の強化【児島会議所】
- (21) 瀬戸大橋通年ライトアップについては、夜型観光における地域の起爆剤として早急な実現【児島会議所】
- (22) 瀬戸内海に面し、自然景観や海産物等豊富な資源にも恵まれている児島地区においては、ワーケーションや二拠点生活また移住等に適した地区として移住定住の促進【児島会議所】
- (23) 海洋レジャーを含め、アウトドアやサイクリング等レジャーやスポーツを楽しむる地区として、海岸線等の整備やPR等の強力な推進【児島会議所】
- (24) 繊維産業「ものづくり」を中心とした「産業観光」の取り組み及び若者によるスタートアップ企業への支援【児島会議所】
- (25) 「くらしき・こじま 海の駅」に登録した児島観光港の活性化推進【児島会議所】
- (26) 令和7年度開通予定の「国道2号線笠岡バイパス及び玉島笠岡道路」、令和8年度供用開始予定の山陽自動車道 篠坂PAの「スマートインターチェンジ整備事業」による渋滞緩和と物流の効率化に伴う企業進出、また雇用増大が見込まれるエリアの活性化並びに周辺観光に対する支援【笠岡会議所】
- (27) 備後圏域における慢性的な交通渋滞の緩和、生活道路等の安全対策、防災・減災対策、また物流の効率化などを目的とする「一般国道2号線福山道路」の整備に対する支援【笠岡会議所】
- (28) 日本遺産「知ってる!?! 悠久の時が流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いたせとうち備讃諸島～」を活用したツアー企画やイベント開催、新名物としての「潮待チ棒様メシ」の推進など観光振興の取り組みへの支援【笠岡会議所】
- (29) 地域団体商標「笠岡ラーメン」を活用した、まちおこし事業への支援、また岡山県全体をご当地グルメで盛り上げる「おかやまご当地グルメまちづくりネットワーク」の活動支援【笠岡会議所】
- (30) 農道空港を起点とした、陸地と島地部を結ぶ未来インフラの一つとして、空飛ぶクルマを利用した物流や人の輸送に向けた実証実験への支援【笠岡会議所】

- (31) 地域資源としての廃校の活用事例である「シェアアトリエ海の校舎」の取り組み支援【笠岡会議所】
- (32) 観光資源としての牡蠣養殖地のブランド化（産地化）への取り組み支援【笠岡会議所】
- (33) 「井原デニム」が地域団体商標として認定されたが、一層の情報発信のため、国内外の展示会・イベント等への参加費用等の継続的な助成【井原会議所】
- (34) 県道笠岡井原線は徐々に整備が行われているが、引き続き拡幅ならびに歩道の整備促進【井原会議所】
- (35) 小規模事業者指導費補助金のうち企画提案型・小規模事業者等支援事業のチャレンジショップ、インキュベーション事業への対応など使途と予算額の拡充【井原会議所】
- (36) 小田川の川床の浚渫および河川敷の支障木の撤去【井原会議所】
- (37) 山陽自動車道篠坂パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの早期実現とアクセスする県道3号の整備促進【井原会議所】
- (38) 慢性的な渋滞により緊急時や市民生活にも支障をきたす備前大橋、国道250号、国道2号、県道等交通インフラの整備【備前会議所】
- (39) 持続的な地場産業振興の観点からの東備港整備の実現【備前会議所】
- (40) 日本遺産認定の旧閑谷学校の教育資産としての有効活用と備前焼の普及推進【備前会議所】
- (41) JR赤穂線の増便【備前会議所】
- (42) 中山間地域の小都市に対する定住対策への特別な支援【高梁会議所】
- (43) 高梁川、成羽川の治水対策の強化・推進【高梁会議所】
- (44) 地方創生の観点から、(小規模) 県立高等学校存続に向けた再編整備基準の見直し並びに県独自の支援措置【高梁会議所】
- (45) 道の駅整備等地域経済活性化事業への支援【高梁会議所】
- (46) 日本遺産「ジャパンレッド発祥の地・吹屋」と天空の山城「備中松山城」を活かした経済効果のある観光振興への支援【高梁会議所】
- (47) 新県立博物館の総社市への建設【総社会議所】
- (48) 地域ニーズに応じた土地利用（農振解除を含む）への要件緩和【総社会議所】
- (49) 作山古墳整備への支援【総社会議所】
- (50) 国道180号の市街地区間の交通渋滞緩和並びに災害時の交通確保のため、主要地方道新見日南線に接続するバイパス工事等の早期整備に向けた支援【新見会議所】
- (51) 幹線道である国道180号が災害等により通行不能となった場合の迂回道路の確保・整備に向けた支援ならびにJR等の公共交通機関が運行不能となった場合の代替輸送の確保に向けた支援【新見会議所】
- (52) 集中豪雨等による堤防決壊、河川氾濫を防止するため、高梁川の浚渫工事及び雑

木等の撤去などの継続的な実施【新見会議所】

(53) J R芸備線、姫新線の存続及び新見駅のバリアフリー化などの駅舎改修による利便性向上に対する支援【新見会議所】

(54) 新見駅周辺を核とした都市機能の充実や、にぎわい創出を目指す「新見駅周辺のまちづくり基本構想」の実現に向けた支援【新見会議所】

(55) 新見公立大学の通学路である主要地方道新見日南線の新見駅から新見公立大学方面に向けての道路拡幅整備の実現に向けた支援【新見会議所】

VI. 経営指導員等の人件費に関する要望

全企業数の約85%を占める小規模事業者は、域内の生産、雇用、消費、投資により地域経済の循環を支えており、伝統文化の継承、防災、子供の見守りなど地域コミュニティにとっても不可欠な存在であるが、近年の原材料・エネルギーの高騰、人手不足、後継者不足、働き方改革、デジタル化、カーボンニュートラル、BCP策定など対応すべき経営課題は年々多様化・専門化している。

その経営を現場の最前線で支える商工会議所、商工会の経営指導員は存立基盤を県の補助金に頼っているが、業務量が増大している反面、人件費に充てられる予算は減少傾向にあり、人材の確保難や慢性的なマンパワー不足により危機的状況に陥っている。

特に平成26年に施行された小規模支援法が令和元年に改正されたことに伴い、小規模事業者の経営戦略に踏み込んだ支援を実施する「経営発達支援計画」に取り組んでいるほか、近年では対話と傾聴により経営者自ら課題を設定し、自律的な克服に導くという時間と手間のかかる「経営力再構築伴走支援」という支援手法が国により推奨されている。

こうした状況の中、今後も地域の小規模事業者をサポートする経営指導員の役割はより重要度を増し、支援ニーズも高まっている。岡山県予算項目「商工団体支援事業費」の中の「小規模事業支援事業」の経営指導員等の人件費について大幅な増額をお願いしたい。

<参考>直近10年の最低賃金の推移 28.7%上昇

平成26年度：780円、令和5年：1,004円 全国加重平均

以 上

件名 「資源・エネルギー価格高騰などの影響に対する支援強化」の緊急要望

要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏

要望日 令和5年12月4日

要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

我が国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、日常生活やビジネス活動が正常化し、企業の売上は徐々に回復してきております。反面、原材料やエネルギー価格の高騰に加え、人手不足の中で多くの中小企業は人材の確保・定着に向け、収益が伴わないなかでの「防衛的な賃上げ」に取り組まざるを得ないなど様々な要因によるコスト増が深刻な状況となっております。

なかでも、資源・エネルギー価格については高止まりしており、中長期的に見て大幅な値下がりには期待できないことから、地域の中小・小規模事業者にとって事業継続の大きなネックになっているところであります。

こうした中、岡山市におかれましては、今年に入り、「岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金」を創設いただき、エネルギー効率の悪い設備機器を更新する資金が無く、経費増に苦しんでいる事業者を幅広くご支援いただいておりますことに、改めて厚くお礼を申し上げます。

同補助金は本年6月から第1弾を実施されておりましたが、そのニーズの高さから9月補正予算において第2弾を講じていただいております。現在、多くの事業者のコスト削減に役立てられているところであります。

しかしながら、市内事業者のなかには同補助金に申し込んだものの予算の関係上、抽選に漏れた方や今後同様の補助金を実施されれば新たに申し込みを希望されている潜在的な事業者が多くおられます。

つきましては、同補助金は省エネによる経費削減が見込まれるだけでなく、設備によっては生産性向上にも大きく寄与する非常に有効な制度であることから、今般の国の補正予算成立に伴い省エネに取り組む事業者を引き続き支援するための事業の検討について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月4日

岡山商工会議所

会頭 松田 久

岡山北商工会

会長 吉次 立身

岡山西商工会

会長 長谷川 眞一

岡山南商工会

会長 岩田 成美

赤磐商工会

会長 金谷 征正

件名 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）に対する利子補給の継続に関する要望
要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏
要望日 令和5年12月18日
要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いています。

一方、小規模事業者においてはコロナ禍の影響から回復していない中、賃金上昇や光熱費及び物価高騰の影響が続くなど先行きの不透明感がさらに増しています。加えて、人手不足が解消できておらず、最小限の人員でどうにか業務をこなしている小規模事業者も多く存在しています。

こうした中、岡山市におかれましては、エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小・小規模事業者を緊急的に支援するため、岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金をはじめとした様々な支援策を創設いただき、誠にありがとうございます。

ご既承のとおり当制度は、「無担保・無保証人・低利」で融資を受けられるのみならず、きめ細かく小規模事業者の経営支援を推進する肝要な融資制度であります。そのため、アフターコロナに向けた事業再構築や事業継続においても極めて有効な融資制度となっております。

令和4年度におけるマル経資金の融資実績は49件、3億2,290万円であり、コロナ対応の時限的な特別貸付に流れたことなどの影響によりコロナ前と比較して利用は少ないですが、コロナ特別貸付の終了が予定されていることから、再びマル経資金の利用増加が予想されます。

つきましては、岡山市、商工会議所及び商工会が一層連携し、当地域小規模事業者の持続的発展の支援を強化するため、マル経資金に対する利子補給の継続につきまして、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 利子補給対象者

岡山商工会議所、岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会（東児支所を除く）、赤磐商工会（瀬戸支所）のいずれかの推薦を受け、日本政策金融公庫による融資を受けた小規模事業者

2. 利子補給内容

利子補給額は、融資の契約を交わした日から1年間に支払った利子を対象に、その1%相当額を補給

3. 利子補給期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日までに融資を受けた者

令和5年12月18日

岡山市長 大森雅夫様

岡山商工会議所
会頭 松田 久
岡山北商工会
会長 吉次 立身
岡山西商工会
会長 長谷川 真一
岡山南商工会
会長 岩田 成美
赤磐商工会
会長 金谷 征正

